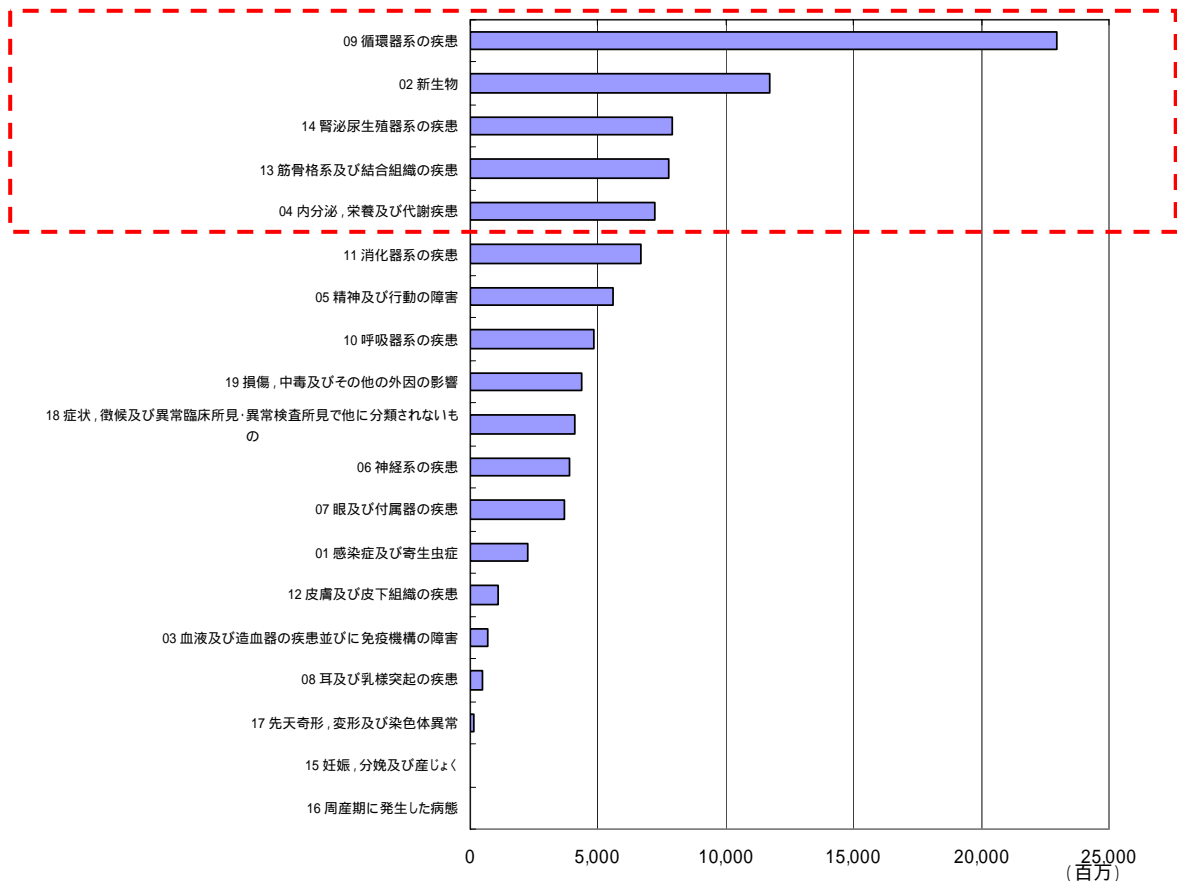


(4) 疾病構造の二次保健医療圏及び区市町村の比較

東京都における二次保健医療圏及び区市町村の疾病構造の違いについて、平成18年11月医科診療分のデータから状況を把握する。

対象年齢層は40歳以上、対象疾病は大分類別医療費の上位5大疾病である「循環器系の疾患」「新生物」「腎泌尿生殖器系の疾患」「筋骨格系及び結合組織の疾患」「内分泌、栄養及び代謝疾患」に注目する。

図表 4-4-1 40歳以上における大分類別医療費（平成18年11月診療分 医科計）

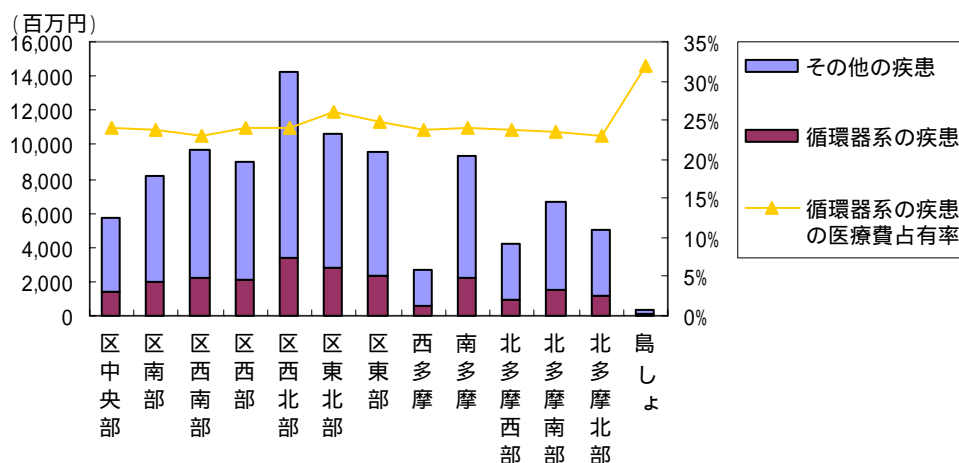


循環器系疾患

循環器系疾患の疾病構造を、二次保健医療圏・区市町村別及び年齢階層別に把握する。

- 40歳以上の医療費における「循環器系疾患」の占める割合は、島しょを除くと23～26%で分布しており、二次保健医療圏の差は小さい。
- 40歳～64歳の年齢層では「高血圧性疾患」の受診率が二次保健医療圏で差が大きいですが、年齢層が上がるにつれて差が小さくなる傾向にある。

図表 4-4-2 二次保健医療圏別 40歳以上における循環器系疾患の医療費占有率
(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-3 40歳以上における循環器系疾患の疾病中分類
(平成18年11月診療分 医科計)

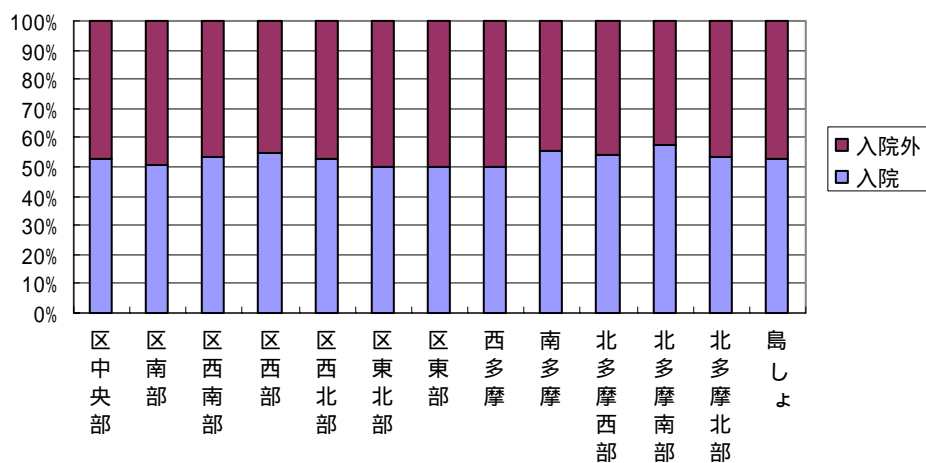
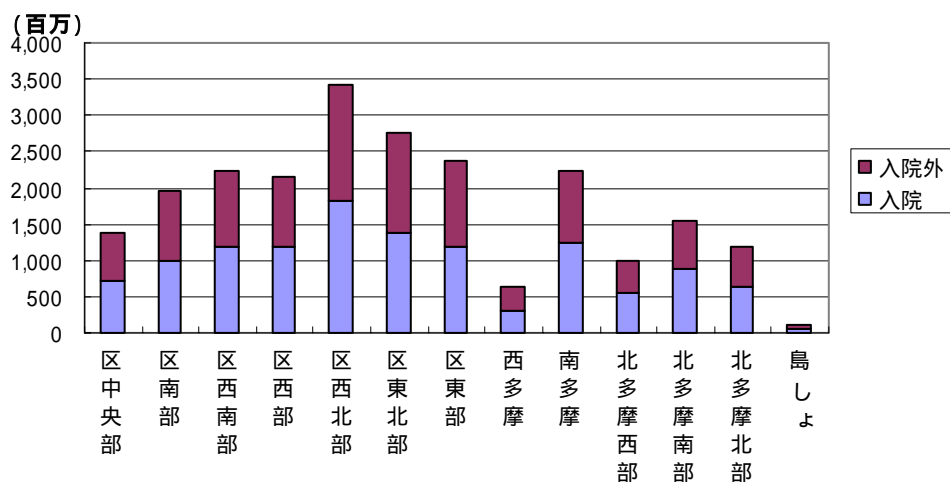
中分類	医療費 (円)	占有率
0901 高血圧性疾患	8,279,877,090	36.0%
0906 脳梗塞	3,911,189,630	17.0%
0902 虚血性心疾患	3,453,777,270	15.0%
0903 その他の心疾患	3,329,298,710	14.5%
0905 脳内出血	1,250,011,520	5.4%
0912 その他の循環器系の疾患	960,340,170	4.2%
0908 その他の脳血管疾患	721,229,460	3.1%
0904 くも膜下出血	534,955,680	2.3%
0909 動脈硬化(症)	346,384,920	1.5%
0910 痔核	153,035,260	0.7%
0911 低血圧(症)	20,688,180	0.1%
0907 脳動脈硬化(症)	20,297,620	0.1%
計	22,981,085,510	100.0%

図表 4-4-4 区市町村別 40 歳以上における循環器系疾患の医療費と占有率

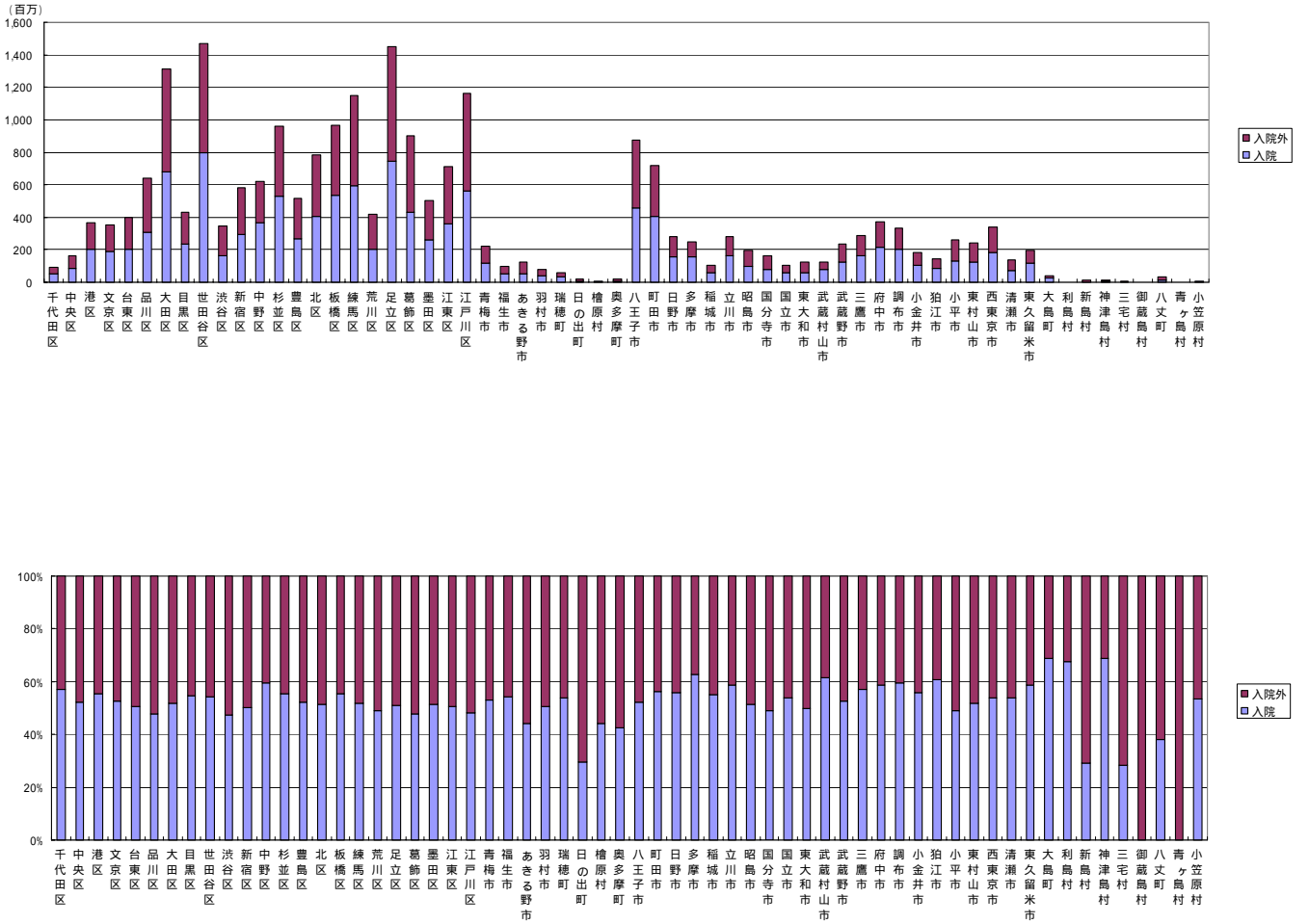
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

No.	区市町村	二次保健医療圏	医療費(円)	医療費占有率
1	千代田区	区中央部	92,333,560	26.8%
2	中央区	区中央部	161,675,780	22.9%
3	港区	区中央部	368,644,530	23.7%
5	文京区	区中央部	354,653,570	23.2%
6	台東区	区中央部	400,883,410	25.2%
9	品川区	区南部	637,024,170	23.3%
11	大田区	区南部	1,312,864,420	23.9%
10	目黒区	区西南部	432,289,590	22.4%
12	世田谷区	区西南部	1,471,588,080	23.9%
13	渋谷区	区西南部	343,786,550	21.0%
4	新宿区	区西部	580,253,070	23.5%
14	中野区	区西部	617,178,990	25.0%
15	杉並区	区西部	959,116,570	23.5%
16	豊島区	区西北部	517,226,370	24.3%
17	北区	区西北部	785,128,130	24.6%
19	板橋区	区西北部	968,319,990	23.8%
20	練馬区	区西北部	1,149,422,920	23.5%
18	荒川区	区東北部	416,973,330	24.0%
21	足立区	区東北部	1,451,846,930	26.8%
22	葛飾区	区東北部	898,208,220	25.6%
7	墨田区	区東部	502,752,440	25.1%
8	江東区	区東部	712,531,990	22.6%
23	江戸川区	区東部	1,160,704,200	26.1%
28	青梅市	西多摩	224,743,070	25.3%
40	福生市	西多摩	98,347,220	24.2%
48	あきる野市	西多摩	121,384,790	21.5%
49	羽村市	西多摩	76,331,350	22.6%
50	瑞穂町	西多摩	59,870,310	26.5%
51	日の出町	西多摩	20,774,460	18.8%
52	檜原村	西多摩	8,231,560	24.8%
53	奥多摩町	西多摩	18,978,330	26.6%
24	八王子市	南多摩	875,474,030	23.7%
32	町田市	南多摩	717,911,990	24.2%
35	日野市	南多摩	282,721,660	23.3%
46	多摩市	南多摩	249,955,960	25.3%
47	稲城市	南多摩	101,499,770	23.6%
25	立川市	北多摩西部	279,868,000	23.5%
30	昭島市	北多摩西部	192,729,430	24.5%
37	国分寺市	北多摩西部	164,376,480	22.3%
38	国立市	北多摩西部	104,441,210	22.2%
42	東大和市	北多摩西部	123,363,950	22.9%
45	武蔵村山市	北多摩西部	127,332,640	27.7%
26	武蔵野市	北多摩南部	236,181,420	24.5%
27	三鷹市	北多摩南部	284,230,300	22.2%
29	府中市	北多摩南部	371,994,200	24.3%
31	調布市	北多摩南部	335,797,240	23.2%
33	小金井市	北多摩南部	182,537,840	24.1%
41	狛江市	北多摩南部	143,015,640	22.9%
34	小平市	北多摩北部	261,891,580	21.6%
36	東村山市	北多摩北部	239,538,420	22.1%
39	西東京市	北多摩北部	339,232,830	24.5%
43	清瀬市	北多摩北部	137,263,630	23.6%
44	東久留米市	北多摩北部	194,712,730	23.8%
54	大島町	島しょ	42,292,960	38.2%
55	利島村	島しょ	1,790,090	44.9%
56	新島村	島しょ	10,192,140	24.0%
57	神津島村	島しょ	10,957,310	44.1%
58	三宅村	島しょ	7,025,050	17.2%
59	御蔵島村	島しょ	376,580	19.8%
60	八丈町	島しょ	31,964,880	29.6%
61	青ヶ島村	島しょ	217,400	26.2%
62	小笠原村	島しょ	6,130,250	43.7%

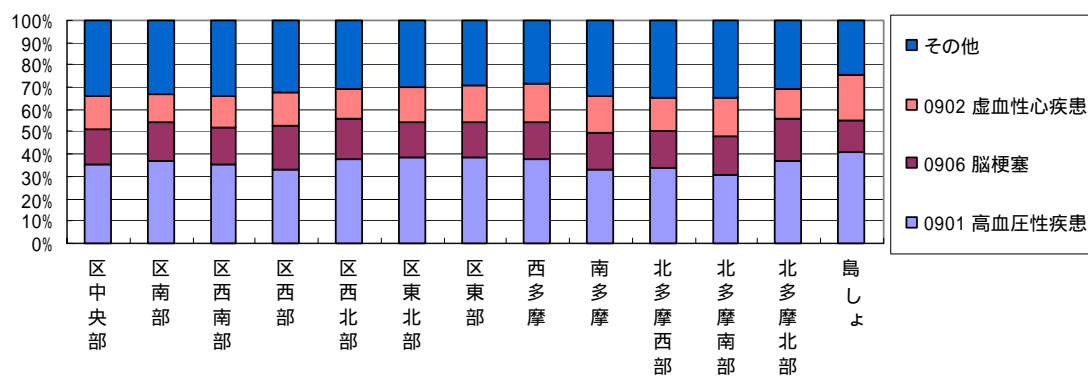
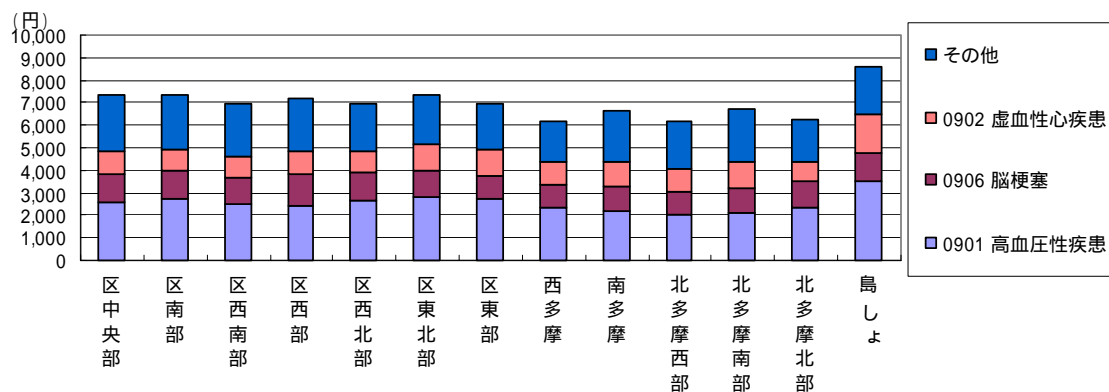
図表 4-4-5 二次保健医療圏別 循環器系疾患 療養区分別医療費（40 歳以上）
 （平成 18 年 11 月診療分 医科計）



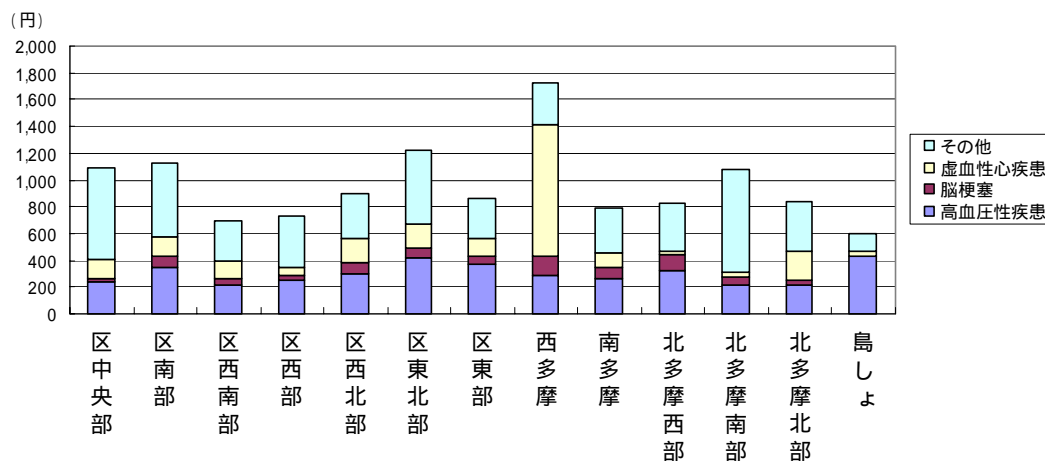
図表 4-4-6 区市町村別 循環器系疾患 療養区分別医療費 (40 歳以上)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



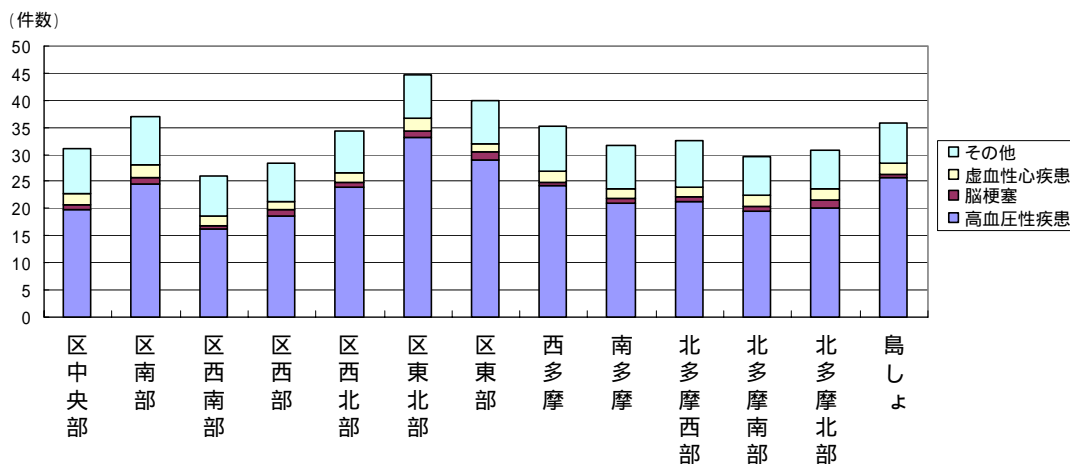
図表 4-4-7 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別 1人当たり医療費(40歳以上)
(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-9 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (40歳～49歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

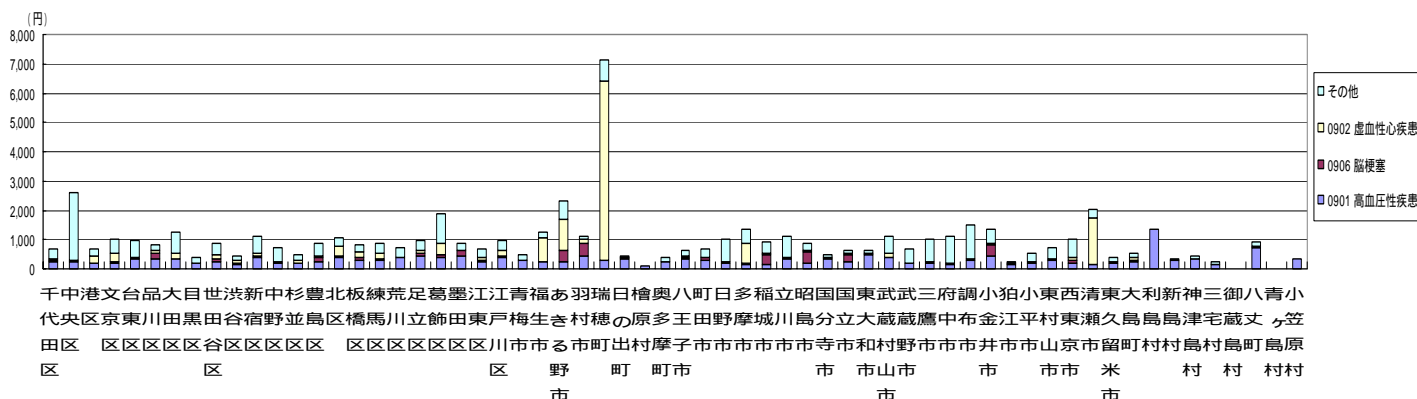


図表 4-4-10 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率 (40歳～49歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

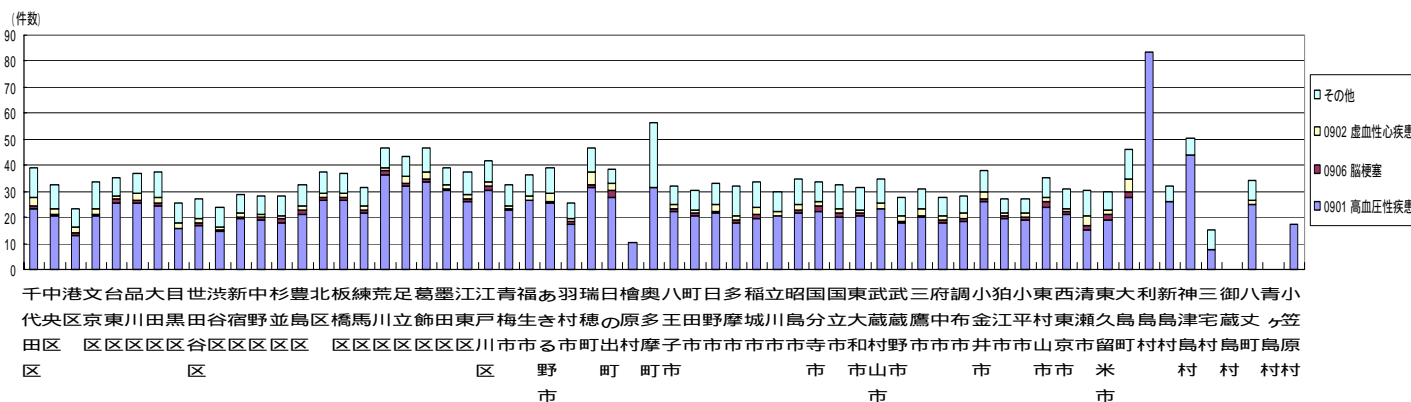


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの二次保健医療圏において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩北部で212円、費用額が最も高い区東北部で415円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額は北多摩北部の217円、西多摩の990円が高くなっている。
- 「脳梗塞」は、西多摩の142円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-11 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費（40歳～49歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

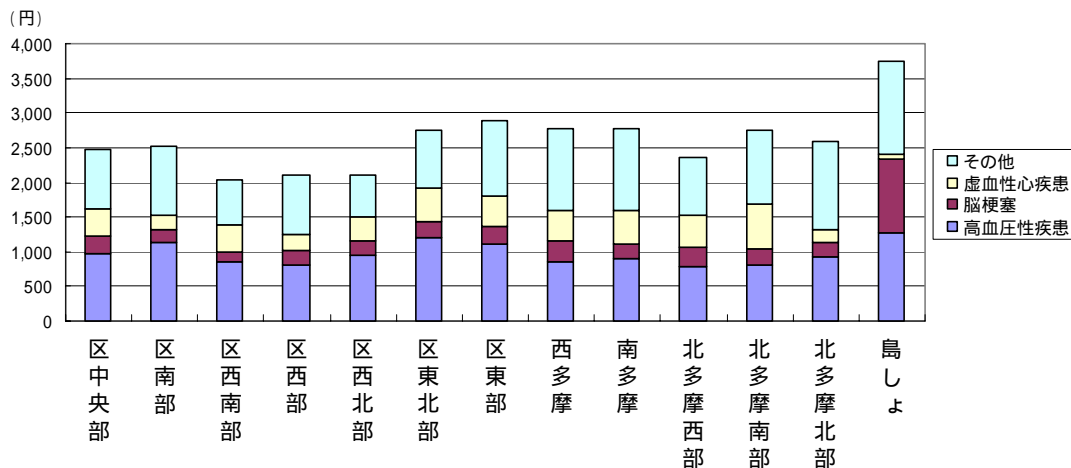


図表 4-4-12 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率（40歳～49歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

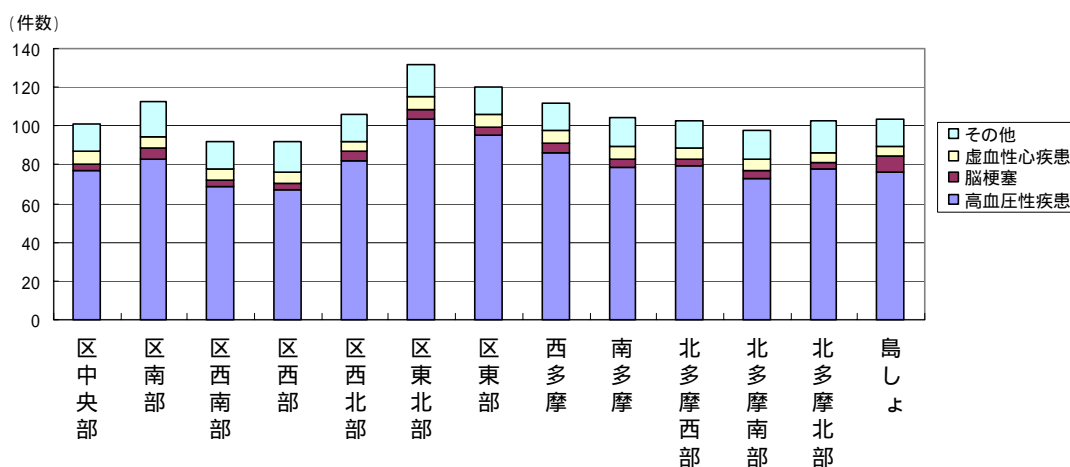


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い檜原村で114円、費用額が最も高い東大和市で479円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額は清瀬市の1,593円、瑞穂町の6,132円が高くなっている。
- 「脳梗塞」は、羽村市の450円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-13 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (50歳～59歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

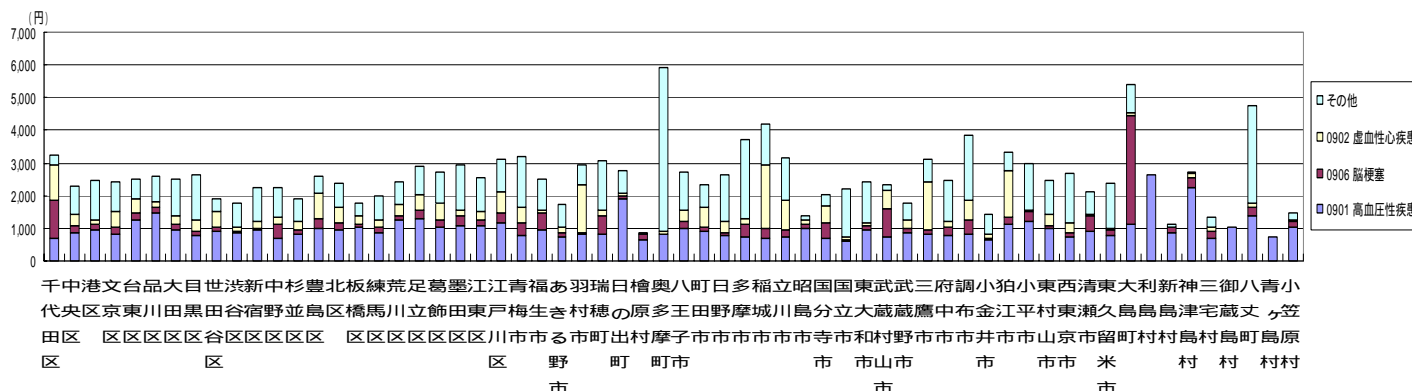


図表 4-4-14 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率 (50歳～59歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

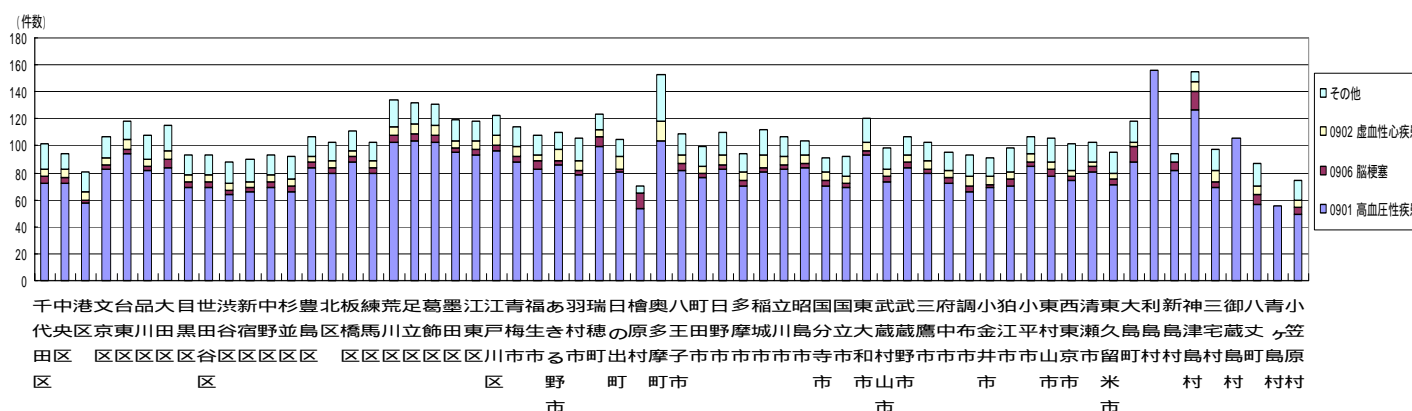


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で776円、費用額が最も高い区東北部で1,198円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額は北多摩南部の636円が最も高くなっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、西多摩の311円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-15 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (50歳～59歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

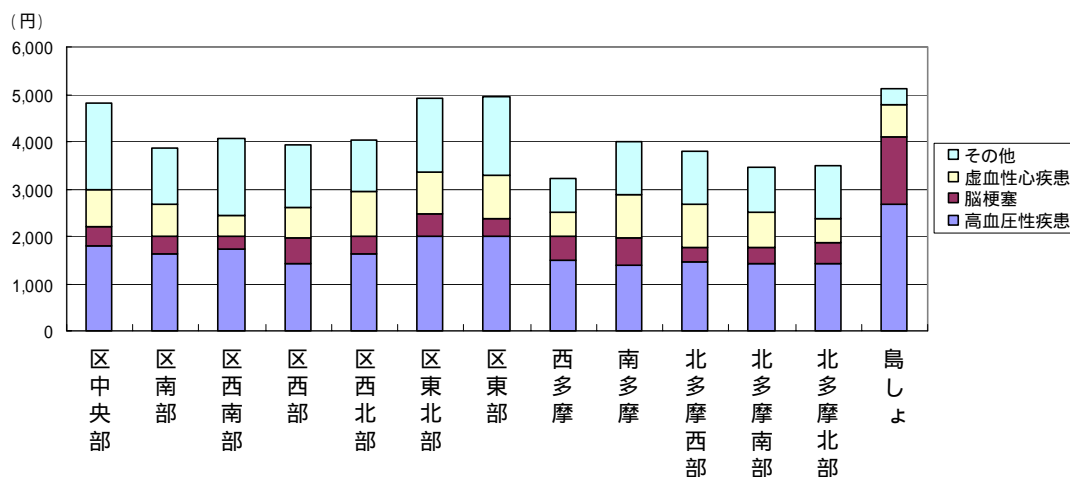


図表 4-4-16 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率 (50歳～59歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

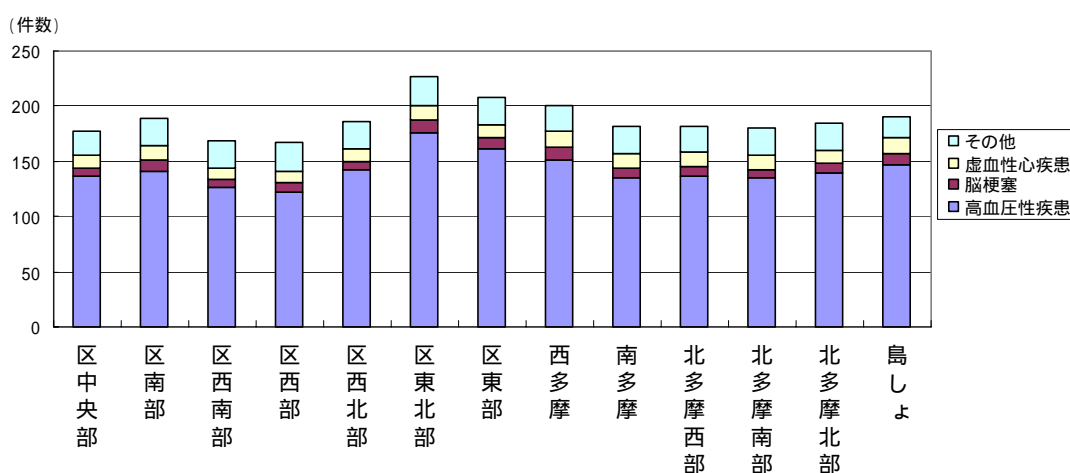


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い国立市で 599 円、費用額が最も高い日の出町で 1,893 円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額は稲城市の 1,944 円が最も高くなっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、品川区の 1,159 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-17 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費(60歳～64歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

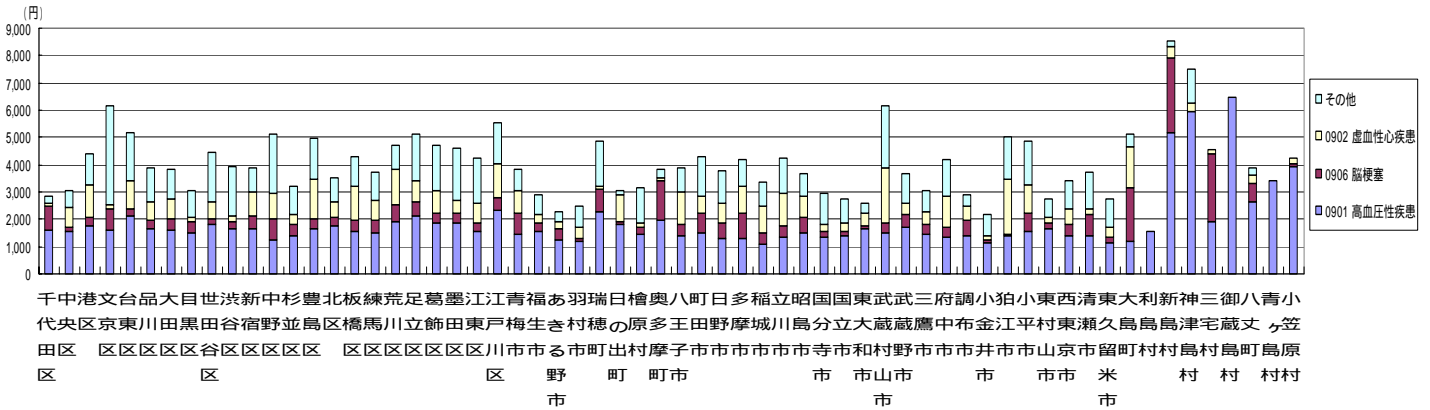


図表 4-4-18 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率(60歳～64歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

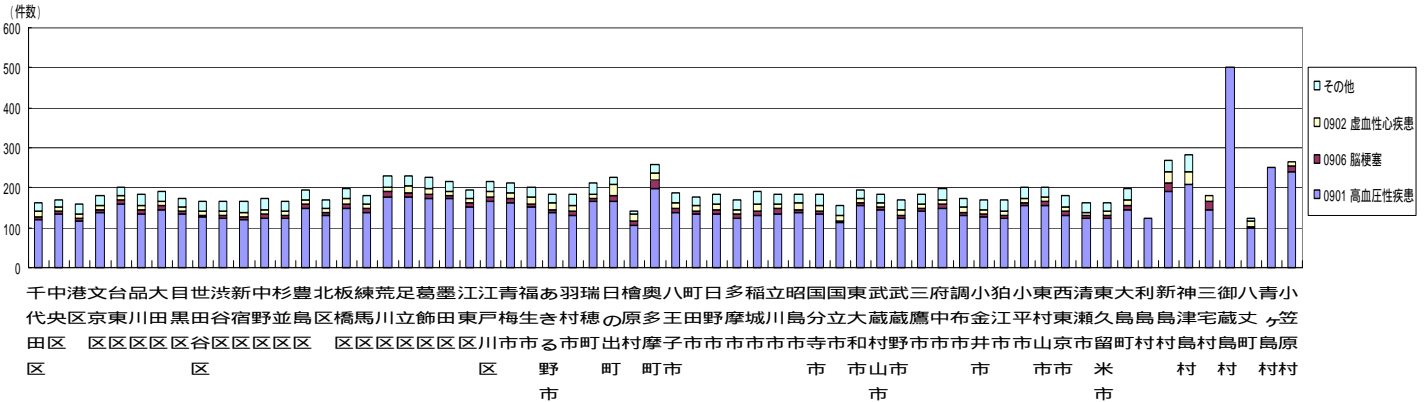


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い南多摩で1,397円、費用額が最も高い区東北部で1,994円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額が最も低い区西南部で437円、費用額が最も高い南多摩で924円となっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、費用額が最も低い区西南部で278円、費用額が最も高い南多摩で577円となっている。

図表 4-4-19 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (60 歳～64 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

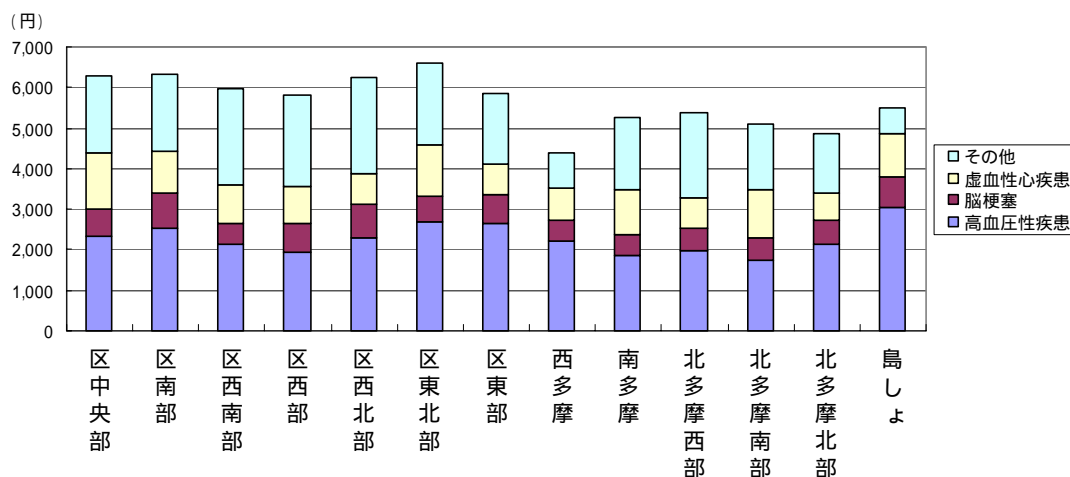


図表 4-4-20 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率 (60 歳～64 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

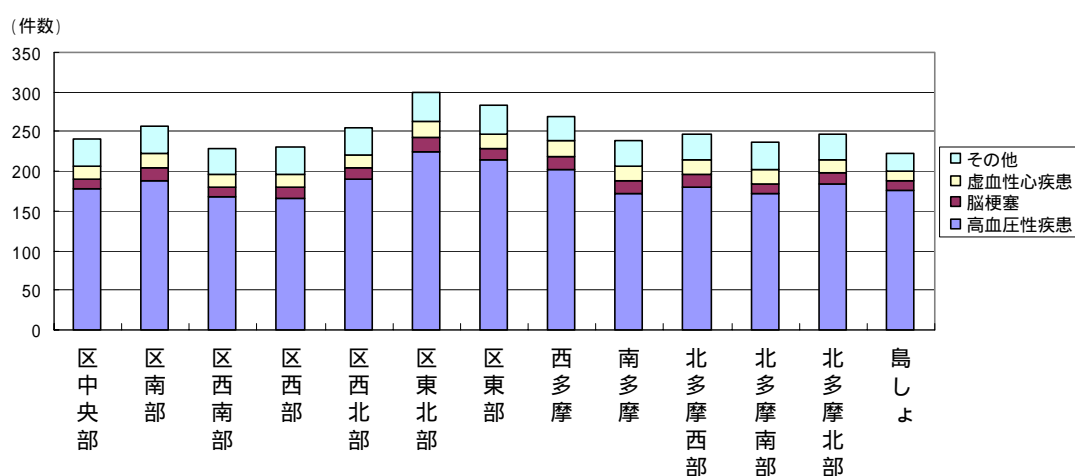


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い稲城市で 1,100 円、費用額が最も高い江戸川区で 2,338 円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額は狛江市の 2,049 円が最も高くなっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、奥多摩町の 1,443 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-21 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費(65歳～69歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

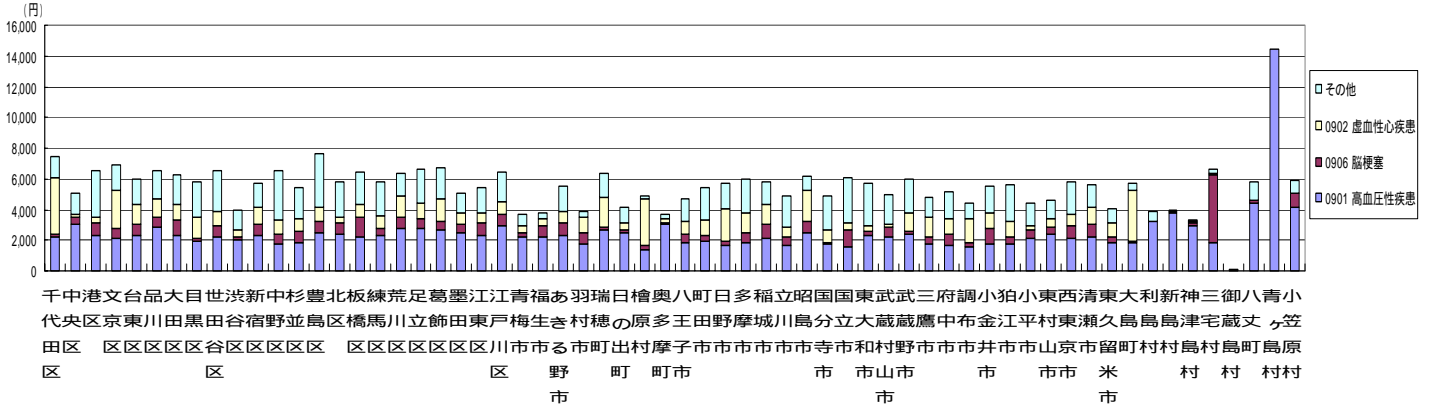


図表 4-4-22 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率(65歳～69歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

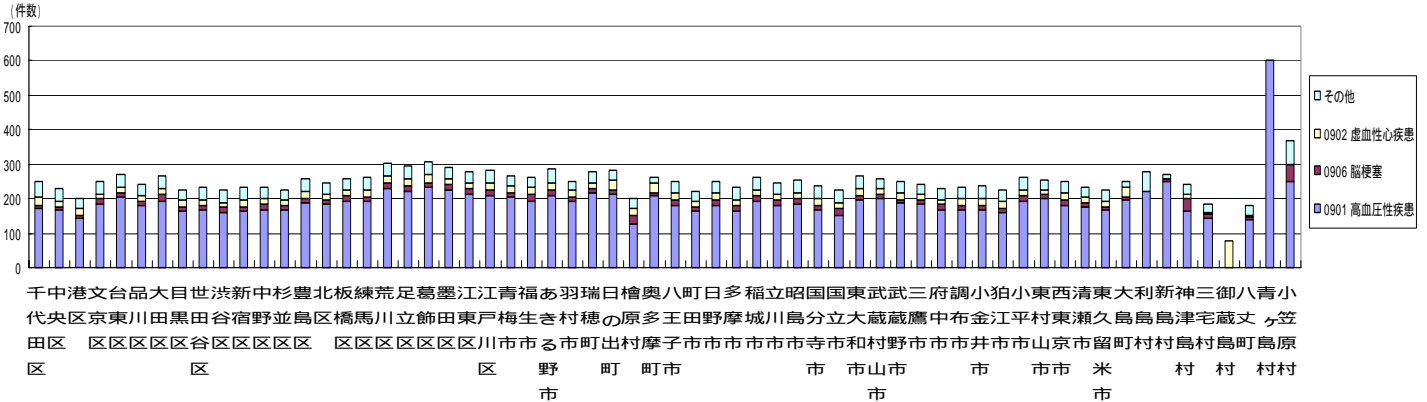


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で1,757円、費用額が最も高い区東北部で2,704円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額が最も低い北多摩北部で664円、費用額が最も高い区中央部で1,372円となっている。
- 「脳梗塞」は、費用額が最も低い西多摩で508円、費用額が最も高い区南部で872円となっている。

図表 4-4-23 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費（65歳～69歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

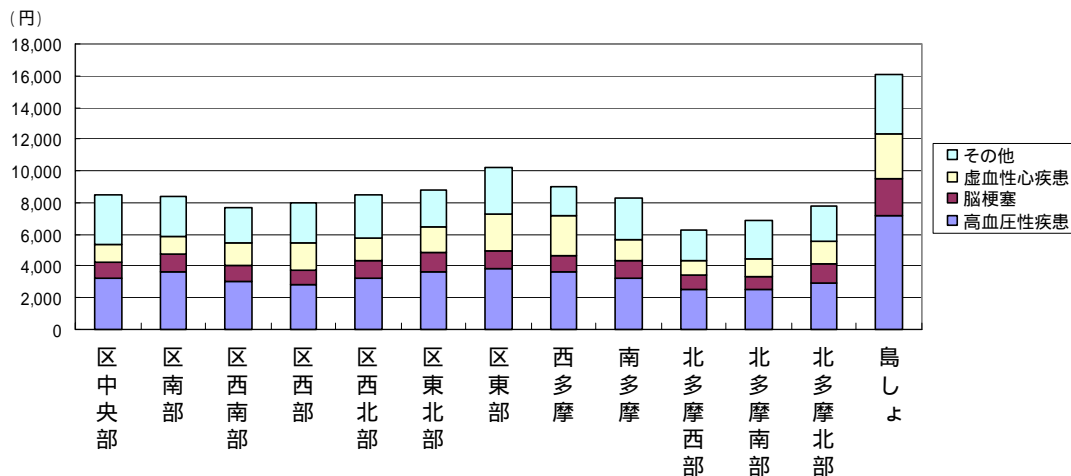


図表 4-4-24 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率（65歳～69歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

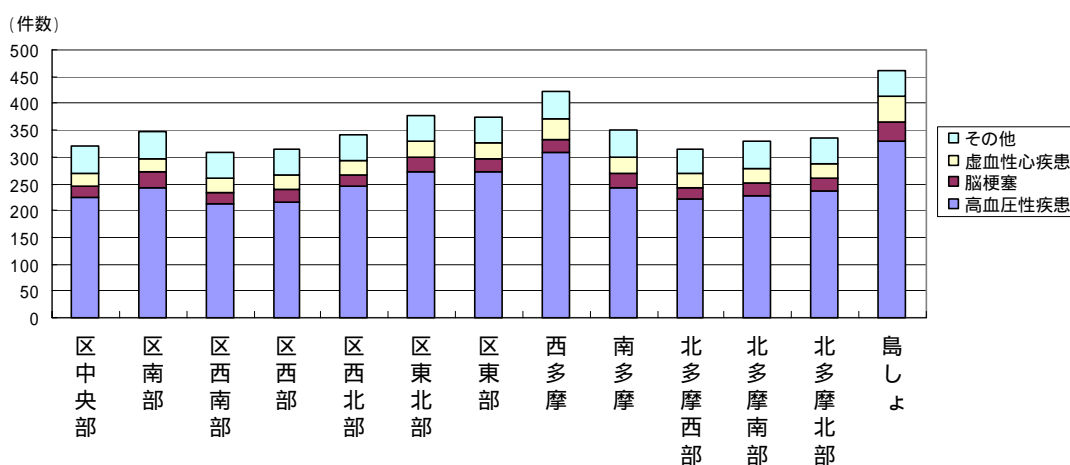


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額の最も低い檜原村で1,396円、費用額の最も高い奥多摩町で3,058円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、費用額は千代田区の3,749円が最も高くなっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、板橋区の1,329円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-25 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (70歳~74歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

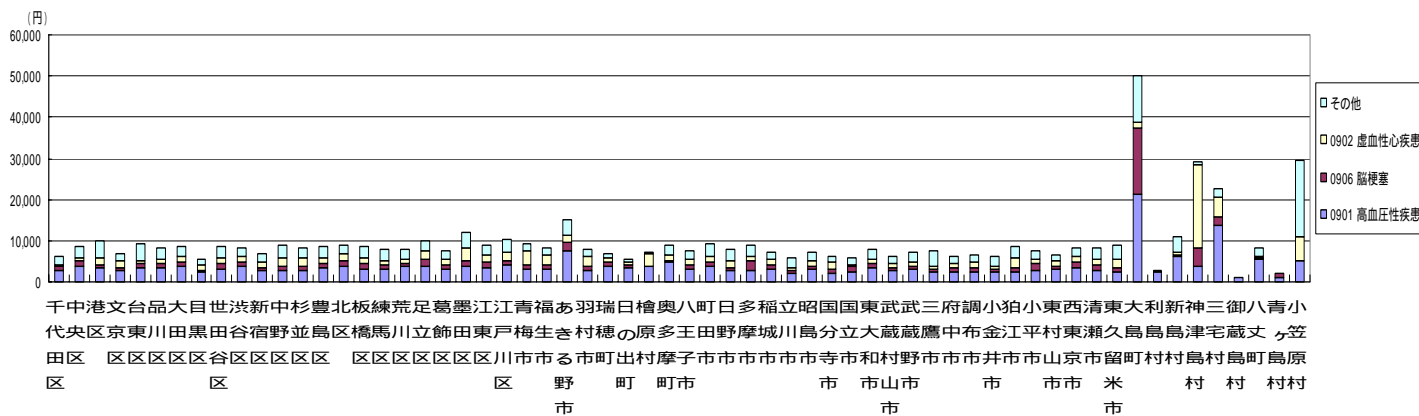


図表 4-4-26 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率 (70歳~74歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

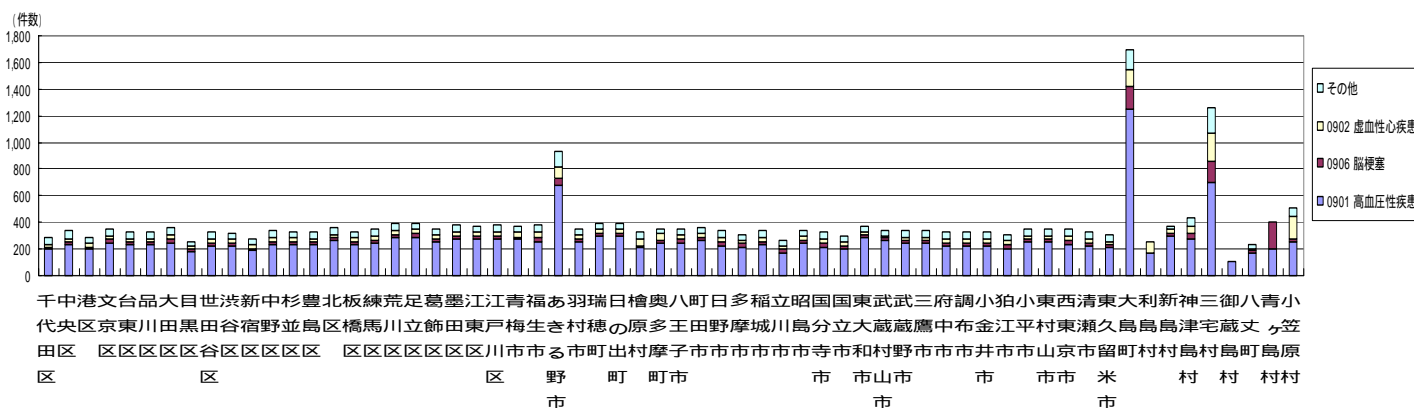


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で2,487円、費用額が最も高い区東部で3,851円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で1,011円、費用額が最も高い西多摩で2,473円となっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で770円、費用額が最も高い北多摩北部で1,273円となっている。

図表 4-4-27 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (70 歳 ~ 74 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

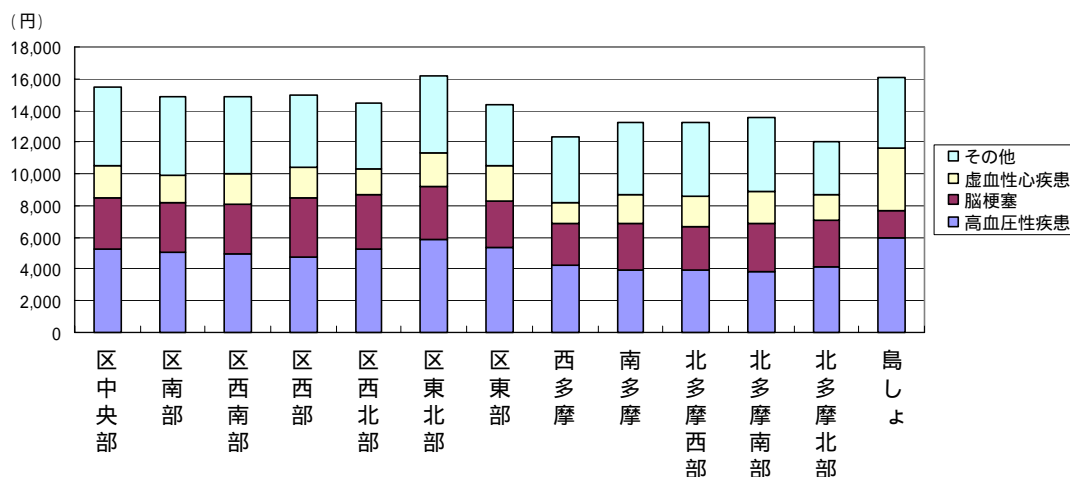


図表 4-4-28 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率 (70 歳 ~ 74 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

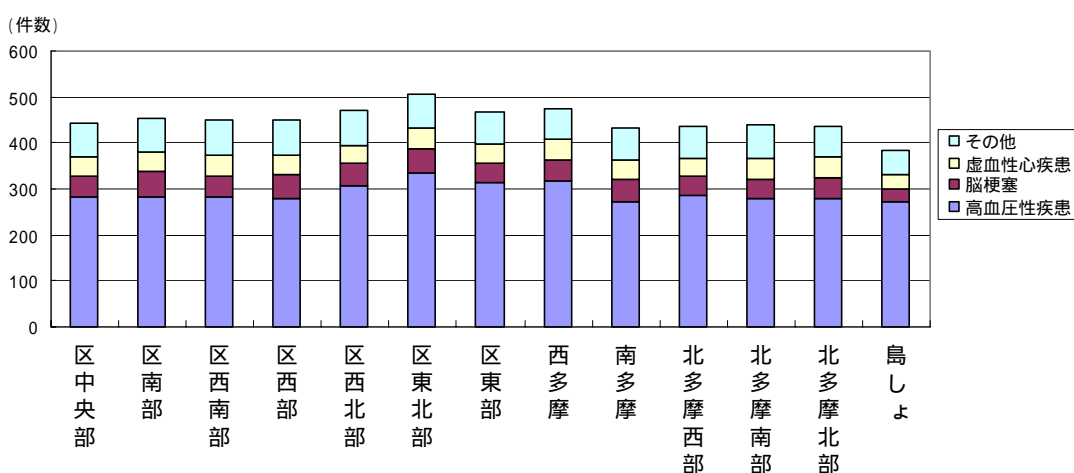


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額の最も低い立川市で 1,889 円、費用額の最も高いあきる野市で 7,710 円、次に高い奥多摩町で 4,678 円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い国立市で 451 円、費用額が最も高い青梅市で 3,308 円となっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、多摩市の 2,230 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-29 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費 (75 歳以上)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

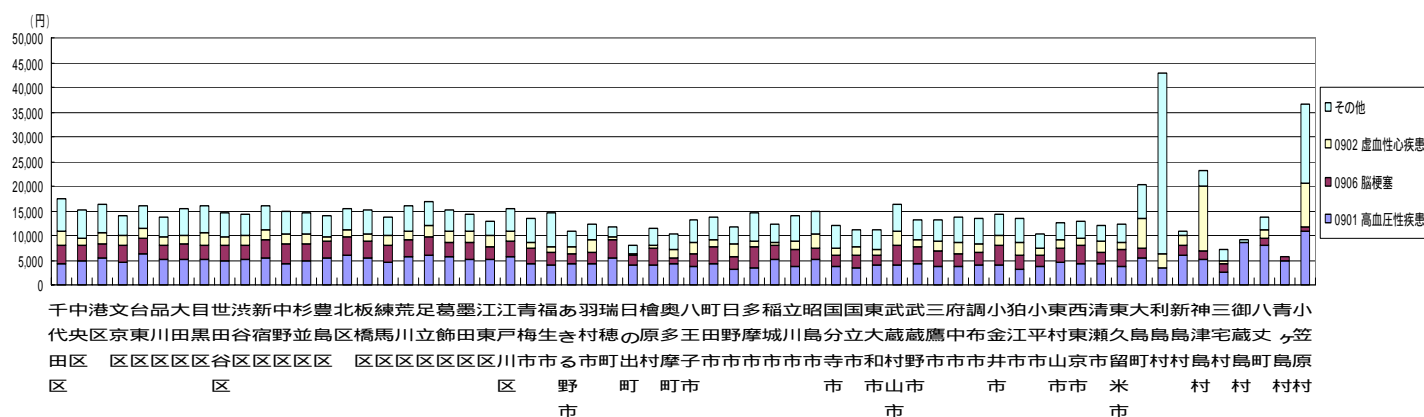


図表 4-4-30 二次保健医療圏別 循環器系疾患 中分類別受診率 (75 歳以上)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

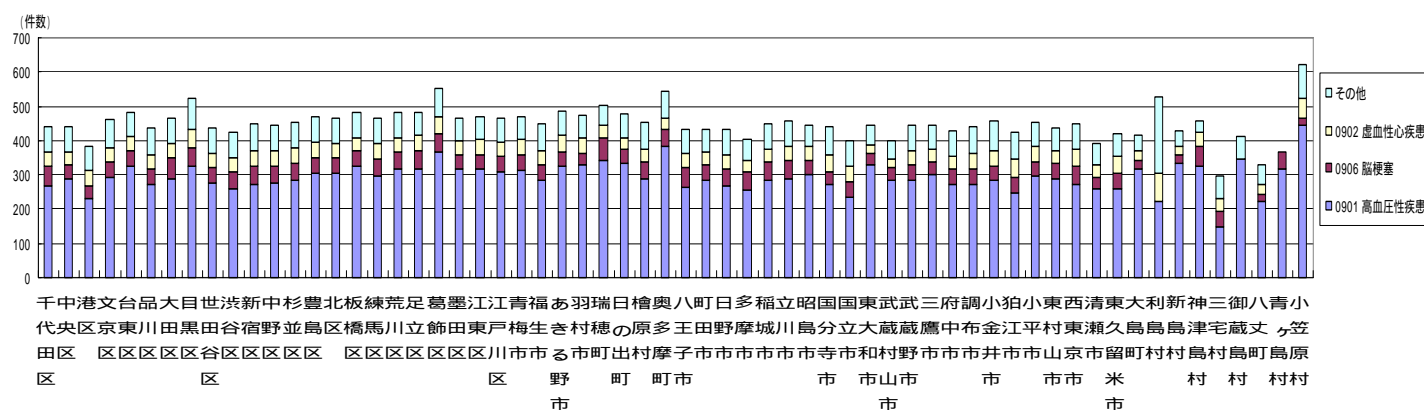


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 3,827 円、費用額が最も高い区東北部で 5,884 円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 1,346 円、費用額が最も高い区東部で 2,211 円となっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 2,634 円、費用額が最も高い区西部で 3,752 円となっている。

図表 4-4-31 区市町村別 循環器系疾患 中分類別一人当たり医療費（75歳以上）
 （平成18年11月診療分 医科計）



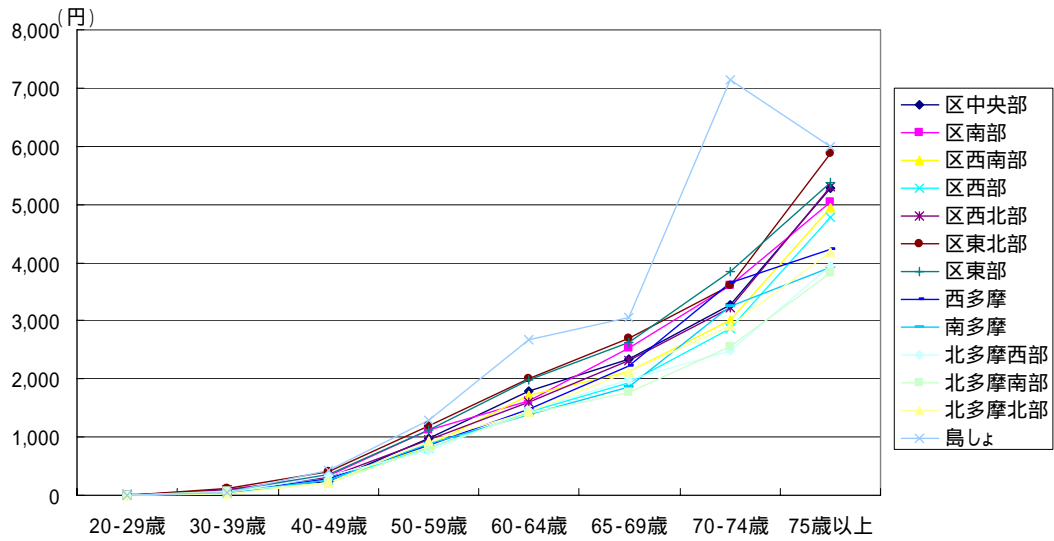
図表 4-4-32 区市町村別 循環器系疾患 中分類別受診率（75歳以上）
 （平成18年11月診療分 医科計）



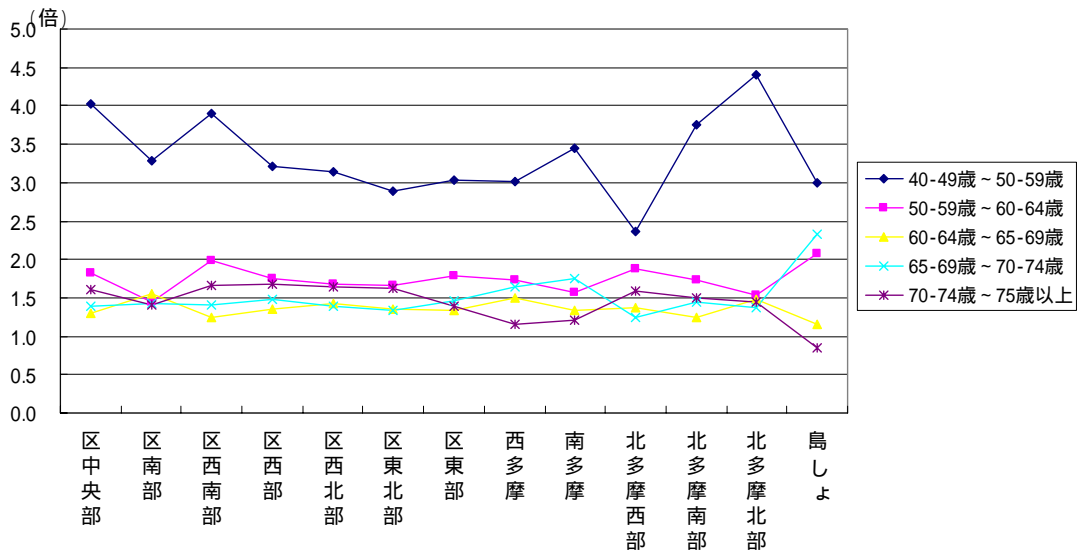
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、ほとんどの区市町村において「高血圧性疾患」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額の最も低い狛江市で3,138円、費用額の最も高い台東区で6,306円となっている。「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の高低は、受診率の高低とほぼ同様の傾向にある。
- ついで、「虚血性心疾患」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い日の出町で321円、費用額が最も高い武蔵村山市で3,009円となっている。
- 「脳梗塞」は、島しょを除くと、費用額が最も低い奥多摩町で1,155円、費用額が最も高い多摩市で4,315円となっている。

(参考)

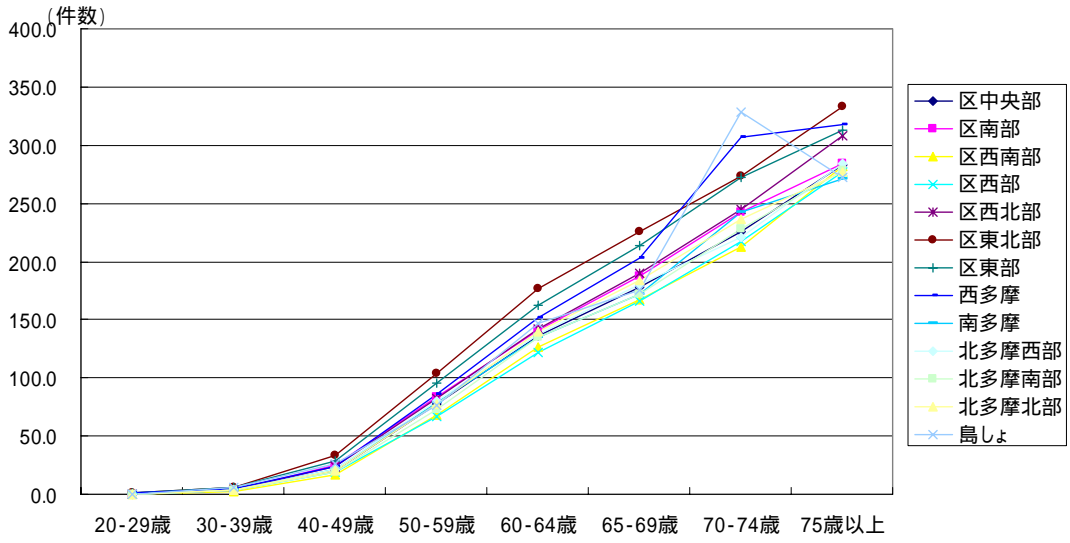
図表 4-4-33 高血圧性疾患 年齢階級別 一人当たり医療費(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



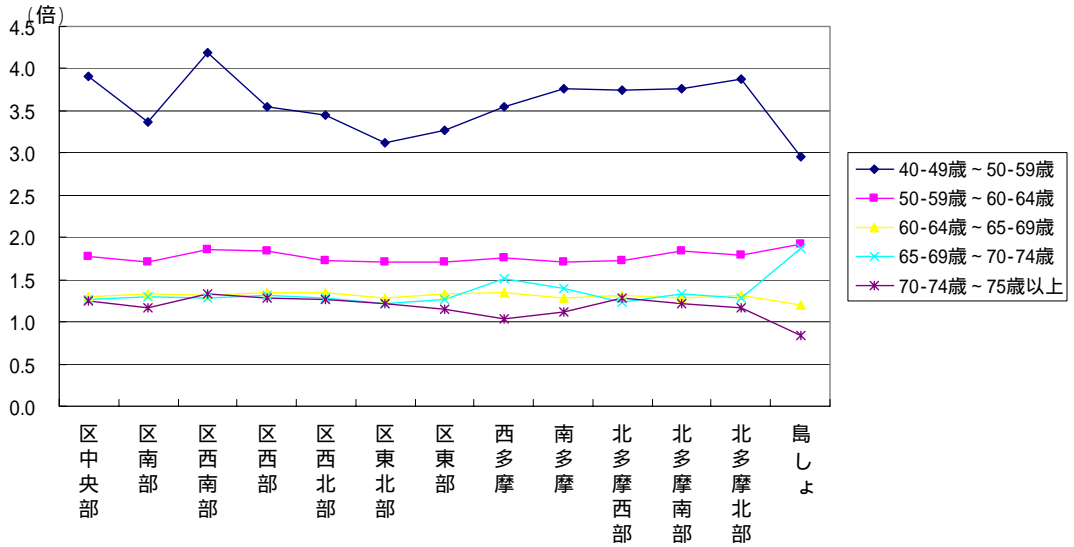
図表 4-4-34 高血圧性疾患 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



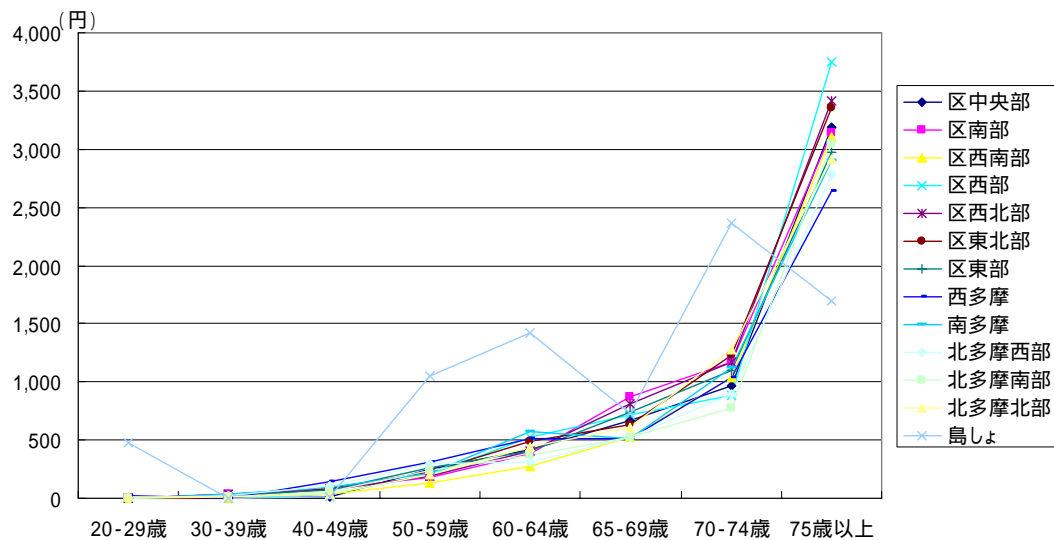
図表 4-4-35 高血圧性疾患 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



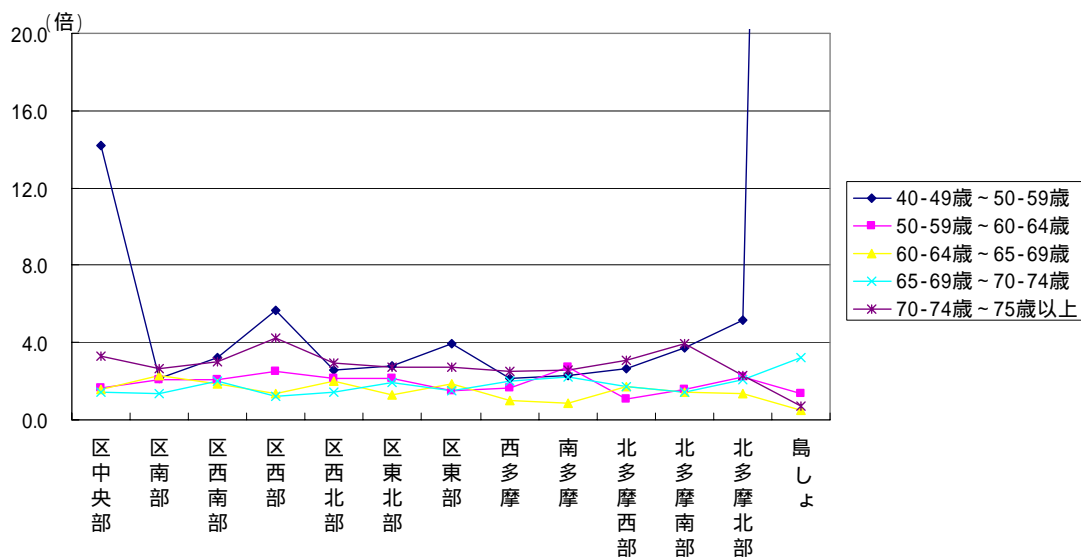
図表 4-4-36 高血圧性疾患 受診率の年齢階級別の伸び (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



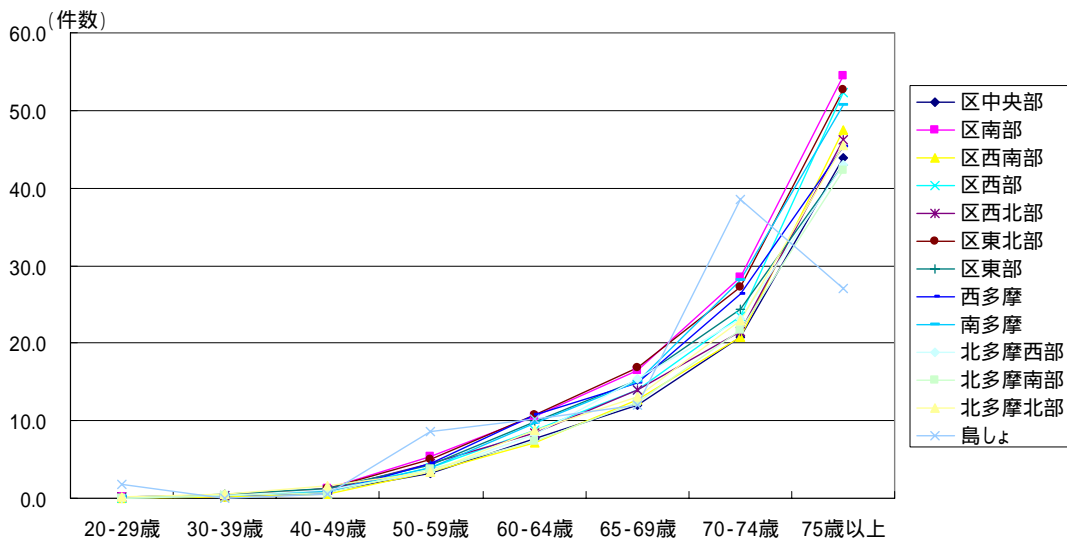
図表 4-4-37 脳梗塞 年齢階級別 一人当たり医療費（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



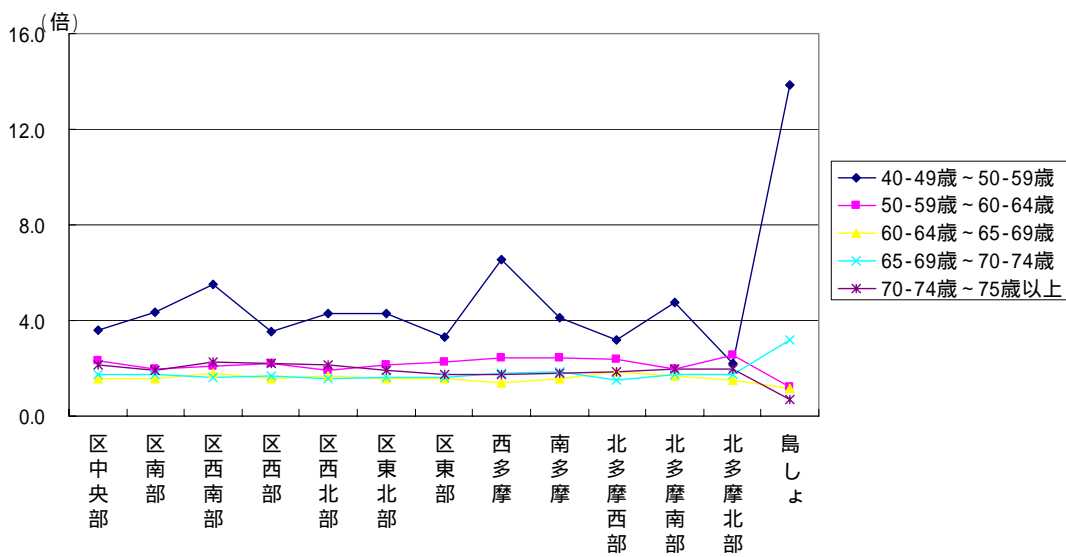
図表 4-4-38 脳梗塞 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



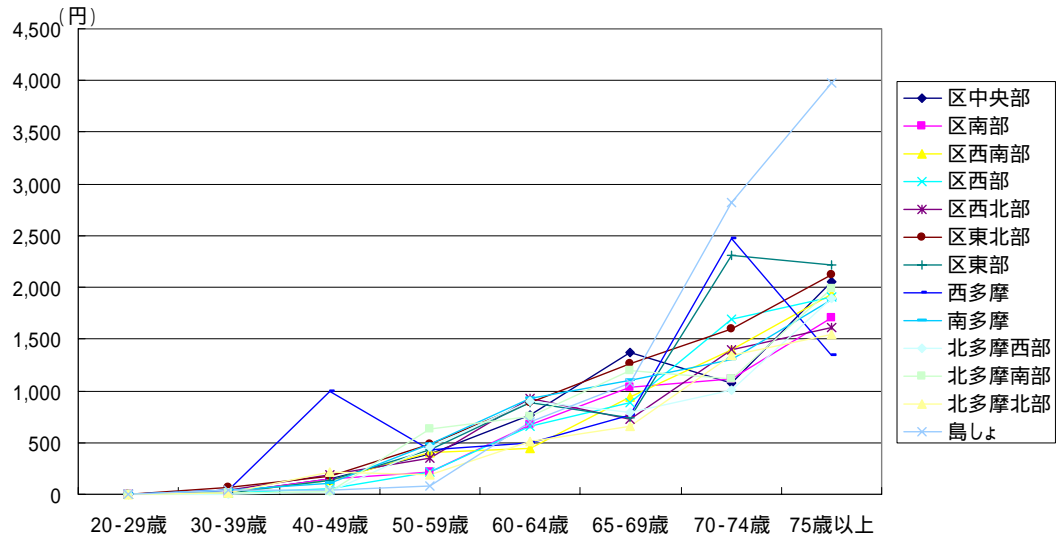
図表 4-4-39 脳梗塞 年齢階級別 受診率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



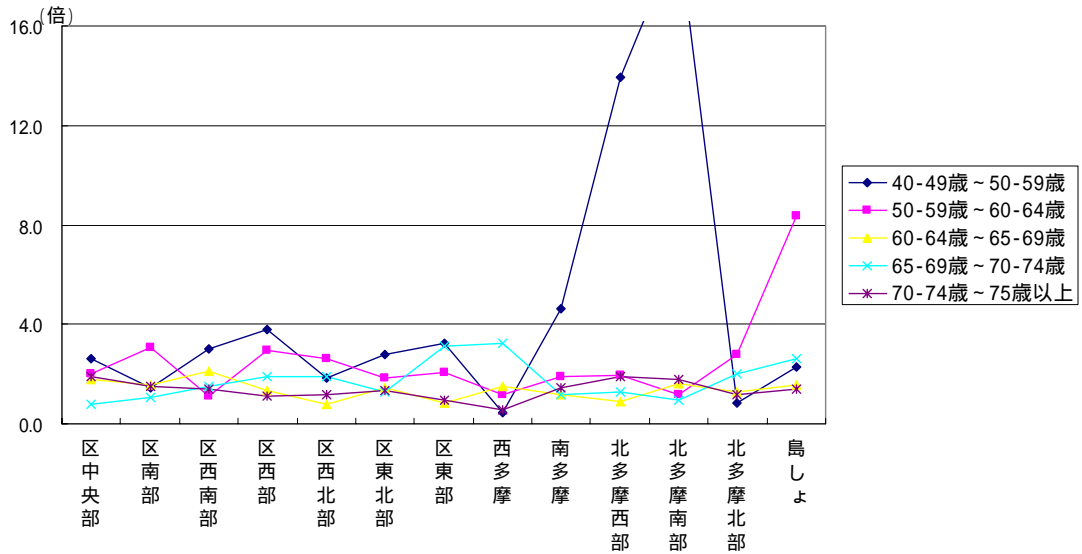
図表 4-4-40 脳梗塞 受診率の年齢階級別の伸び（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



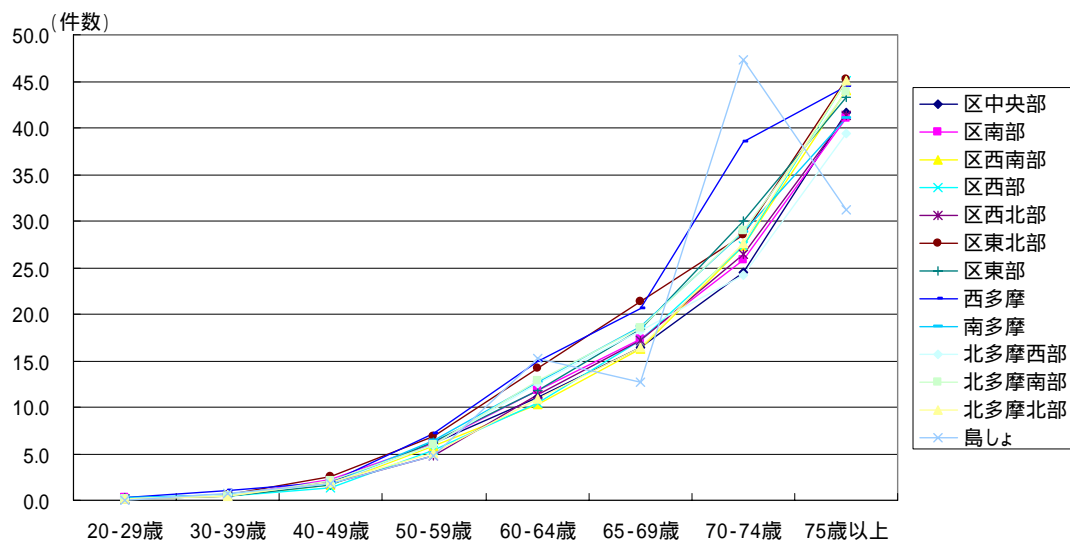
図表 4-4-41 虚血性心疾患 年齢階級別 一人当たり医療費(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



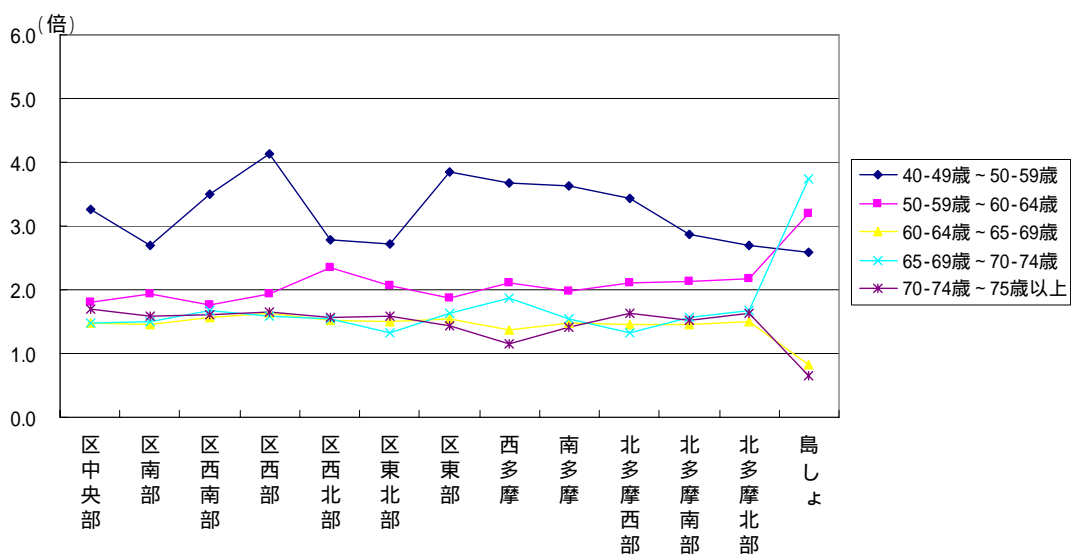
図表 4-4-42 虚血性心疾患 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



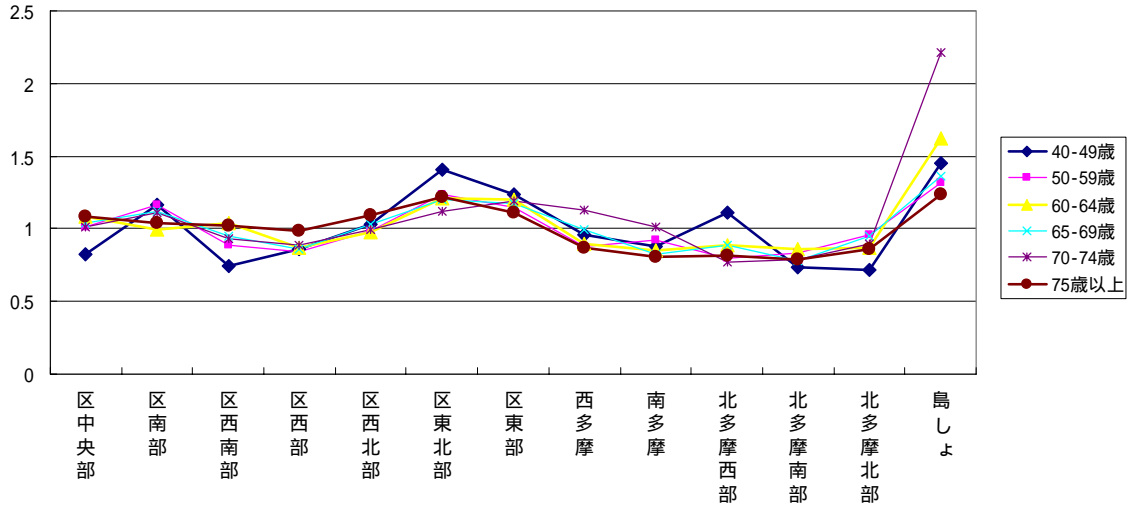
図表 4-4-43 虚血性心疾患 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



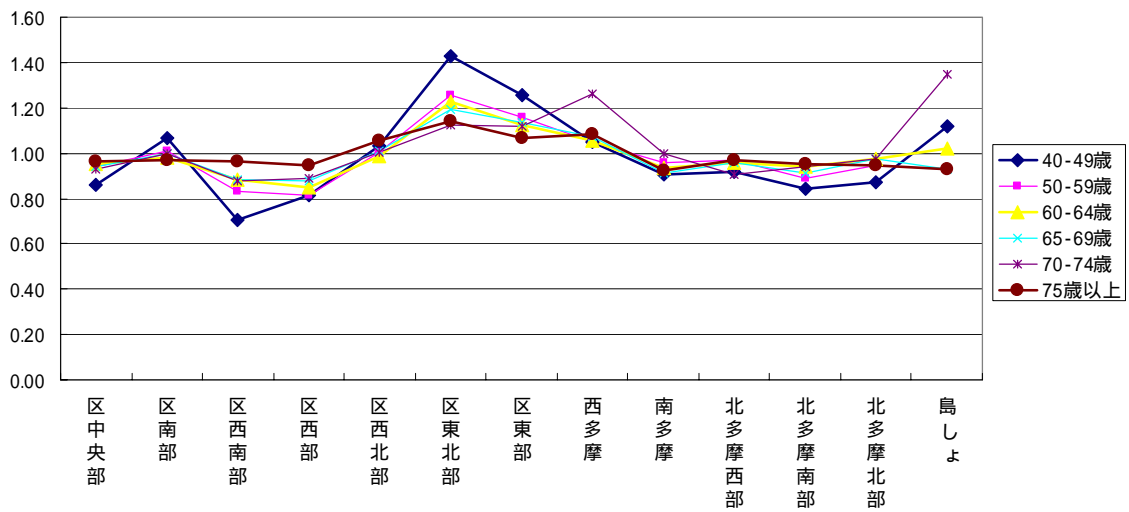
図表 4-4-44 虚血性心疾患 受診率の年齢階級別の伸び (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-45 二次保健医療圏別 高血圧性疾患 一人当たり医療費の年齢階級別の比較
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-46 二次保健医療圏別 高血圧性疾患 受診率の年齢階級別の比較
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



各年齢階級の一人当たり医療費、及び受診率を比較するため、各地域の一人当たり医療費、受診率について、東京都の一人当たり医療費、受診率を1とした場合の指数をそれぞれ算出し、比較した。

以上のように、循環器系疾患の疾病構造を年齢階層別、及び二次保健医療圏・区市町村別に比較したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「循環器系疾患の疾病構造の年齢階層別及び二次保健医療圏・区市町村別の比較」

【疾病中分類別に見た特徴】

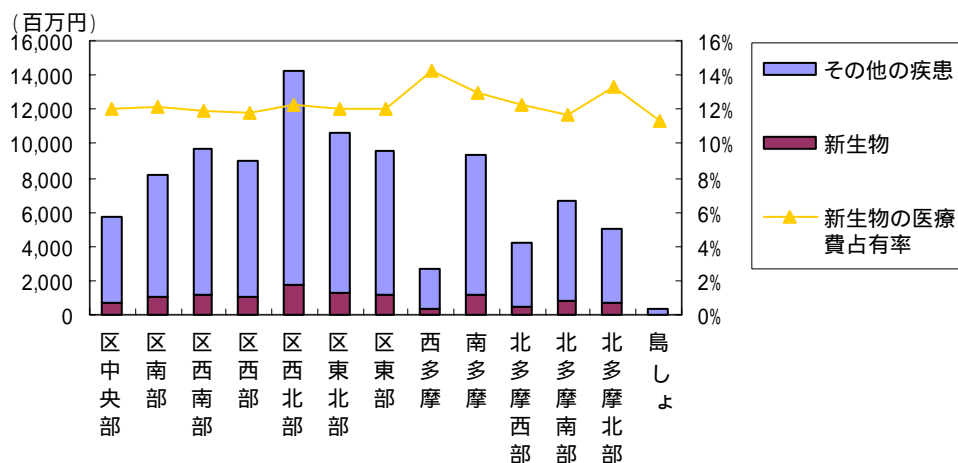
- ・ 循環器系疾患を疾病中分類で見ると、特に「高血圧性疾患」「脳梗塞」「虚血性心疾患」の医療費占有率が高く、これらの疾病における医療費の推移が東京都の医療費に大きな影響を与えようと考えられる。
- ・ 年齢階層別に見ると、「高血圧性疾患」「脳梗塞」の一人当たり医療費は、40歳代から50歳代にかけての伸びが他の年齢階層と比較して大きく、受診率についても同様の傾向が見られる。
- ・ さらに、二次保健医療圏、区市町村別にみると、「高血圧性疾患」の一人当たり医療費の地域間の差は、受診率の影響を大きく受けていると考えられる。なお、「高血圧性疾患」の受診率の差は、加齢と共に小さくなっていく傾向にある。

新生物

新生物の疾病構造を、二次保健医療圏・区市町村別及び年齢階層別に把握する。中分類別に見ていく上では、がん検診の対象疾患に着目する。

- 40歳以上の医療費における「新生物」の占める割合は、各二次保健医療圏は12%前後に分布しており、西多摩・南多摩・北多摩北部がそれぞれ14%、13%、13%とやや高めとなっている。

図表 4-4-47 二次保健医療圏別 40歳以上における新生物の医療費占有率
(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-48 40歳以上における新生物の疾病中分類 (平成18年11月診療分 医科計)

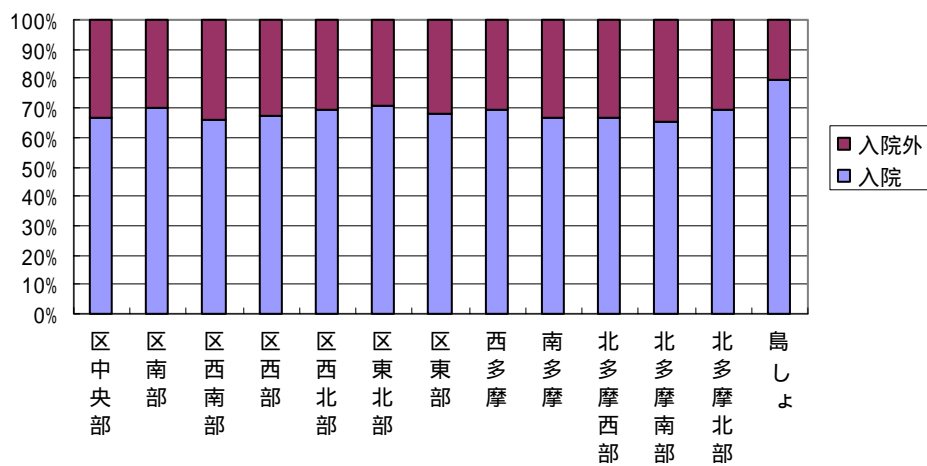
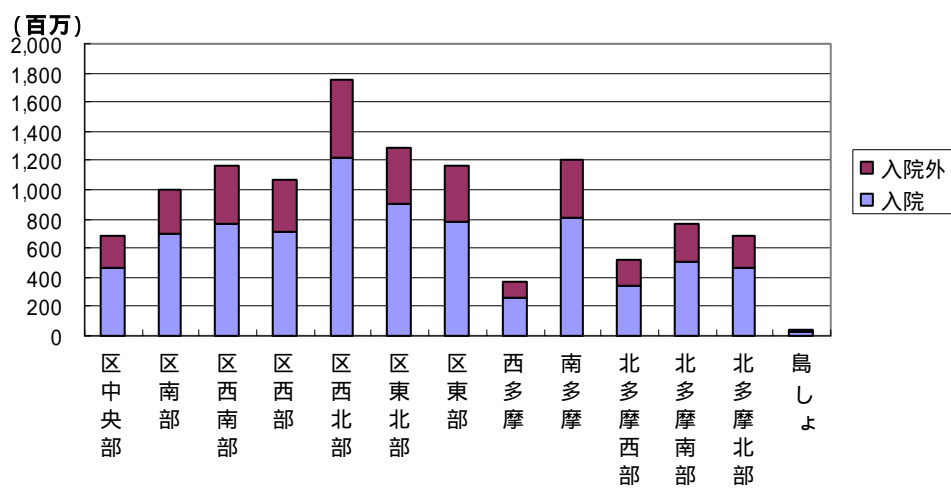
中分類	医療費 (円)	占有率
0210 その他の悪性新生物	3,644,815,090	31.2%
0211 良性新生物及びその他の新生物	1,323,226,130	11.3%
0201 胃の悪性新生物	1,294,695,190	11.1%
0205 気管, 気管支及び肺の悪性新生物	1,241,654,180	10.6%
0202 結腸の悪性新生物	1,181,003,860	10.1%
0206 乳房の悪性新生物	830,890,120	7.1%
0203 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物	606,347,130	5.2%
0204 肝及び肝内胆管の悪性新生物	574,361,010	4.9%
0208 悪性リンパ腫	470,199,620	4.0%
0209 白血病	309,591,310	2.6%
0207 子宮の悪性新生物	222,495,510	1.9%
計	11,699,279,150	100.0%

図表 4-4-49 区市町村別 40 歳以上における新生物の医療費と占有率

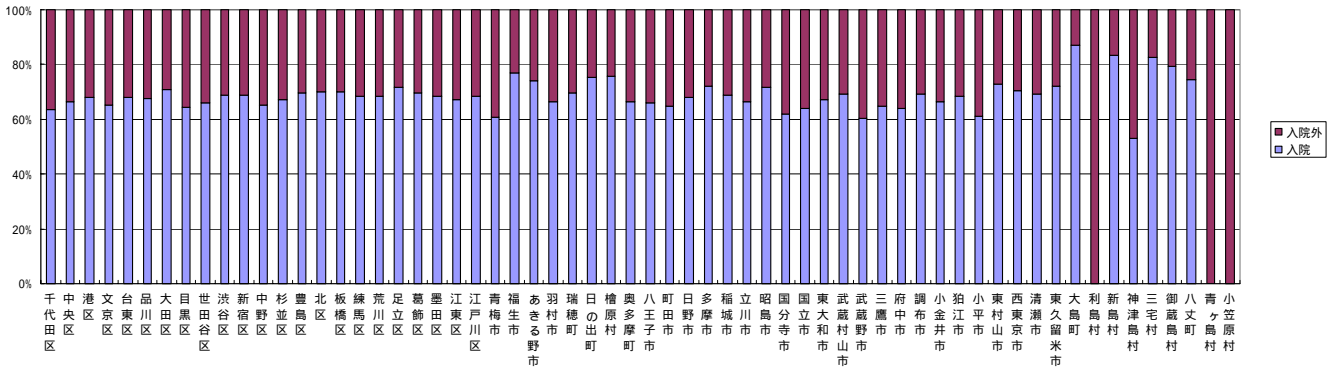
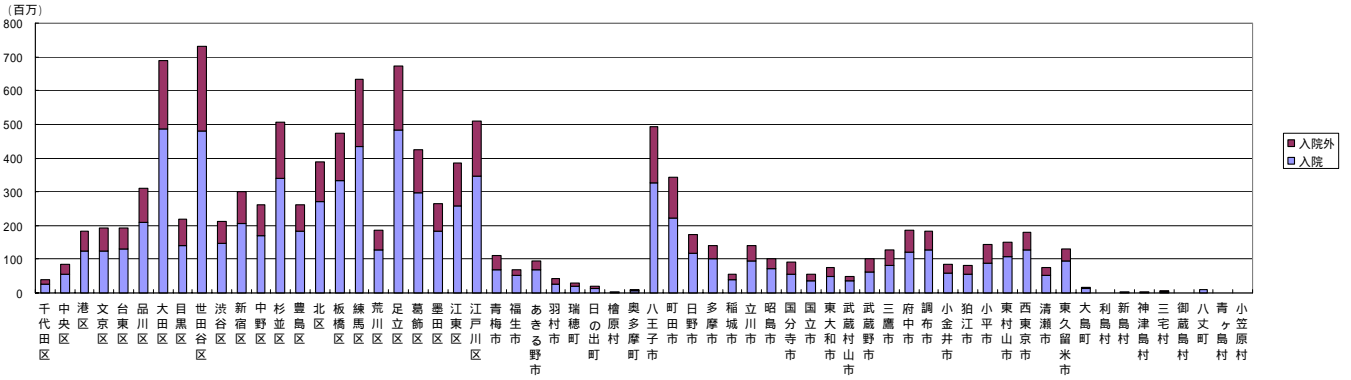
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

No.	区市町村	二次保健医療圏	医療費(円)	医療費占有率
1	千代田区	区中央部	39,993,260	11.6%
2	中央区	区中央部	83,798,690	11.9%
3	港区	区中央部	183,133,270	11.8%
5	文京区	区中央部	191,167,320	12.5%
6	台東区	区中央部	191,286,860	12.0%
9	品川区	区南部	309,993,510	11.3%
11	大田区	区南部	687,356,630	12.5%
10	目黒区	区西南部	220,097,740	11.4%
12	世田谷区	区西南部	730,967,650	11.9%
13	渋谷区	区西南部	210,952,490	12.9%
4	新宿区	区西部	299,469,870	12.1%
14	中野区	区西部	261,569,580	10.6%
15	杉並区	区西部	506,382,180	12.4%
16	豊島区	区西北部	260,113,100	12.2%
17	北区	区西北部	387,912,460	12.2%
19	板橋区	区西北部	474,215,570	11.6%
20	練馬区	区西北部	634,669,000	13.0%
18	荒川区	区東北部	184,785,920	10.6%
21	足立区	区東北部	673,790,140	12.4%
22	葛飾区	区東北部	425,264,170	12.1%
7	墨田区	区東部	265,375,030	13.3%
8	江東区	区東部	384,755,080	12.2%
23	江戸川区	区東部	508,245,240	11.4%
28	青梅市	西多摩	111,704,410	12.6%
40	福生市	西多摩	69,970,580	17.2%
48	あきる野市	西多摩	94,426,920	16.7%
49	羽村市	西多摩	41,487,440	12.3%
50	瑞穂町	西多摩	28,812,630	12.7%
51	日の出町	西多摩	18,447,190	16.7%
52	檜原村	西多摩	3,208,700	9.7%
53	奥多摩町	西多摩	8,313,630	11.7%
24	八王子市	南多摩	492,042,650	13.3%
32	町田市	南多摩	342,549,350	11.5%
35	日野市	南多摩	172,274,560	14.2%
46	多摩市	南多摩	141,307,140	14.3%
47	稲城市	南多摩	56,904,910	13.2%
25	立川市	北多摩西部	141,727,280	11.9%
30	昭島市	北多摩西部	101,320,930	12.9%
37	国分寺市	北多摩西部	90,304,220	12.2%
38	国立市	北多摩西部	56,160,150	11.9%
42	東大和市	北多摩西部	73,936,170	13.7%
45	武蔵村山市	北多摩西部	50,528,030	11.0%
26	武蔵野市	北多摩南部	102,457,550	10.6%
27	三鷹市	北多摩南部	128,511,290	10.0%
29	府中市	北多摩南部	186,704,170	12.2%
31	調布市	北多摩南部	184,072,180	12.7%
33	小金井市	北多摩南部	86,447,870	11.4%
41	狛江市	北多摩南部	82,514,580	13.2%
34	小平市	北多摩北部	143,135,190	11.8%
36	東村山市	北多摩北部	149,066,400	13.8%
39	西東京市	北多摩北部	179,591,780	13.0%
43	清瀬市	北多摩北部	76,358,580	13.1%
44	東久留米市	北多摩北部	130,110,580	15.9%
54	大島町	島しょ	16,203,060	14.6%
55	利島村	島しょ	249,670	6.3%
56	新島村	島しょ	3,791,570	8.9%
57	神津島村	島しょ	2,053,520	8.3%
58	三宅村	島しょ	5,203,040	12.7%
59	御蔵島村	島しょ	604,480	31.8%
60	八丈町	島しょ	11,312,990	10.5%
61	青ヶ島村	島しょ	4,360	0.5%
62	小笠原村	島しょ	164,640	1.2%

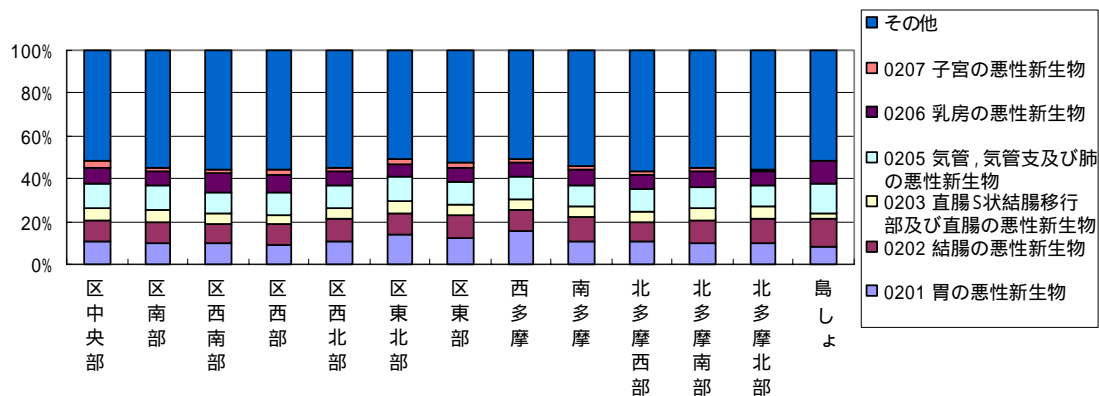
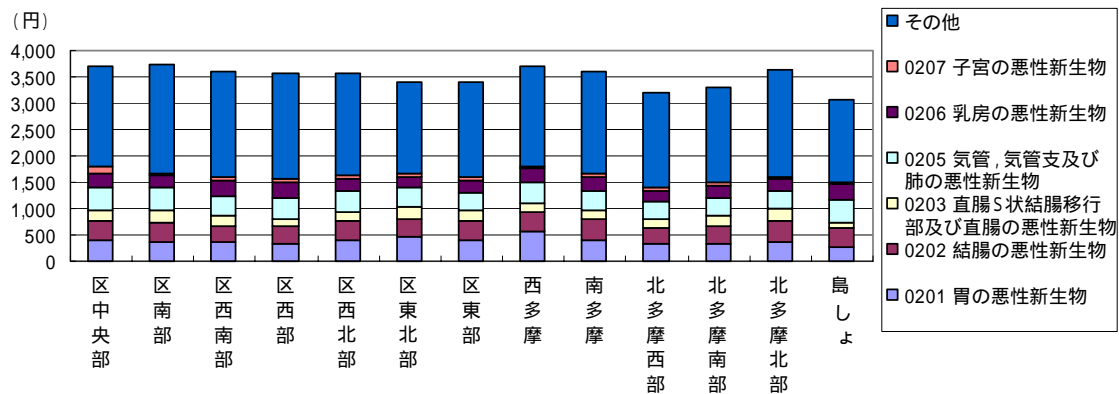
図表 4-4-50 二次保健医療圏別 新生物 療養区分別医療費（40 歳以上）
 （平成 18 年 11 月診療分 医科計）



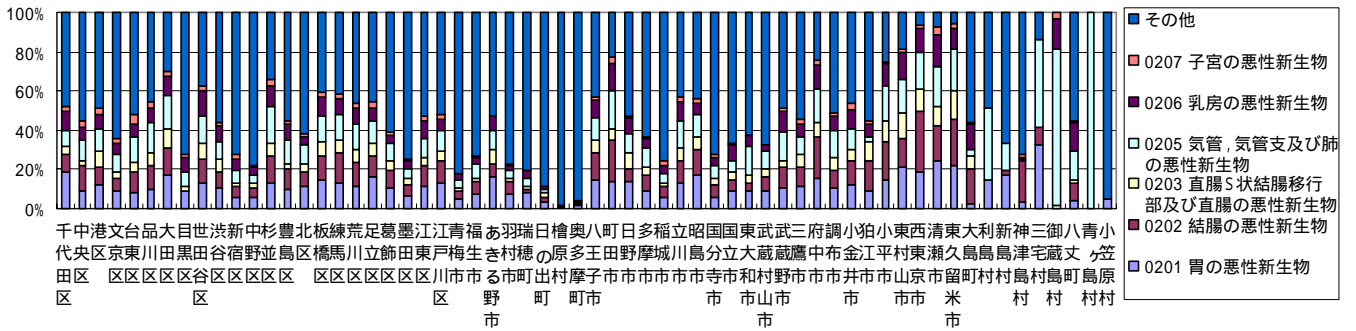
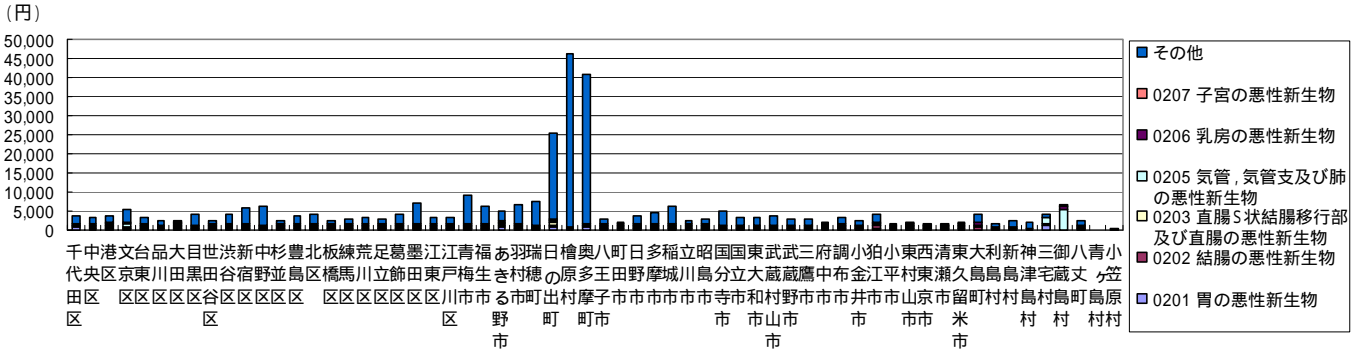
図表 4-4-51 区市町村別 新生物 療養区分別医療費（40 歳以上）
 （平成 18 年 11 月診療分 医科計）



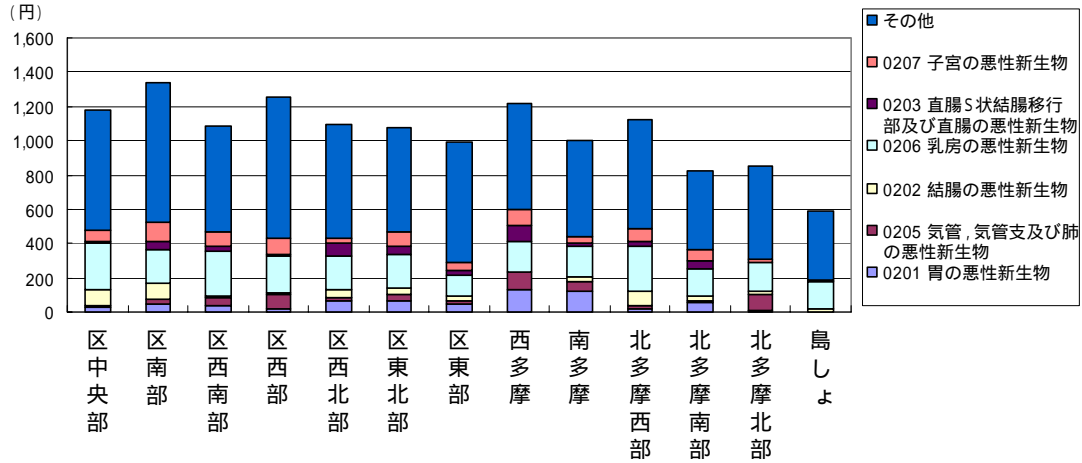
図表 4-4-52 二次保健医療圏別 新生物 中分類別 1人当たり医療費 (40歳以上)
(平成18年11月診療分 医科計)



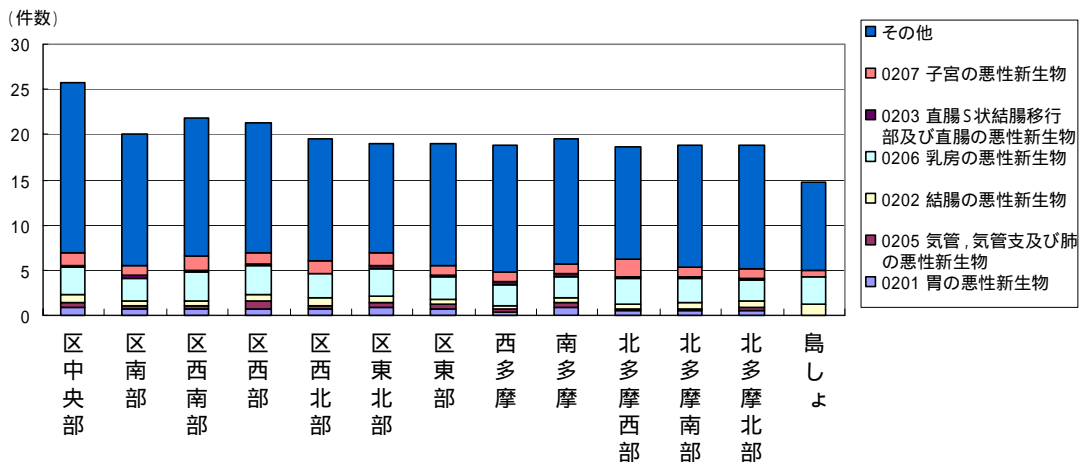
図表 4-4-53 区市町村別 新生物 中分類別 1人当たり医療費 (40歳以上)
(平成18年11月診療分 医科計)



図表 4-4-54 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (40歳～49歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

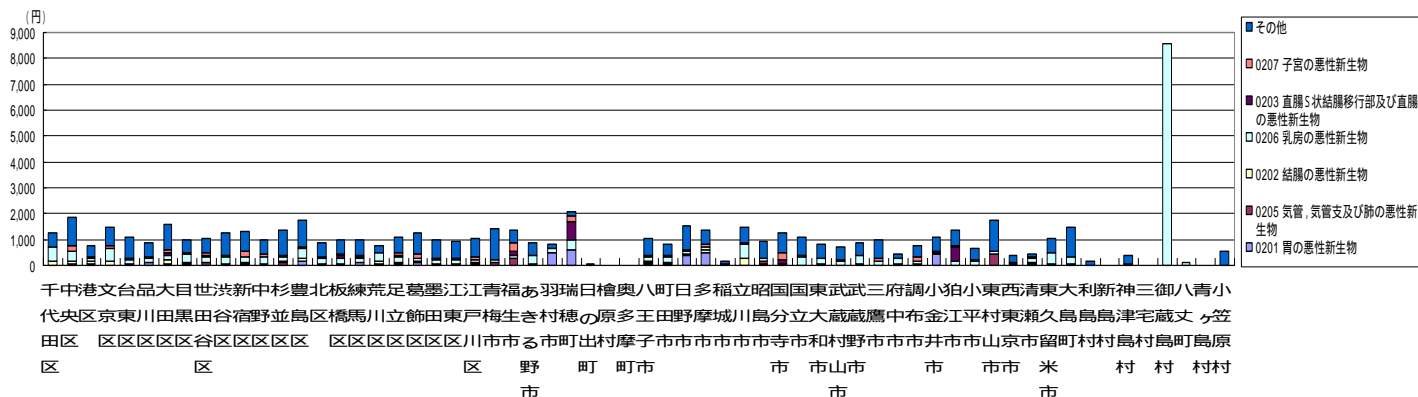


図表 4-4-55 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率 (40歳～49歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

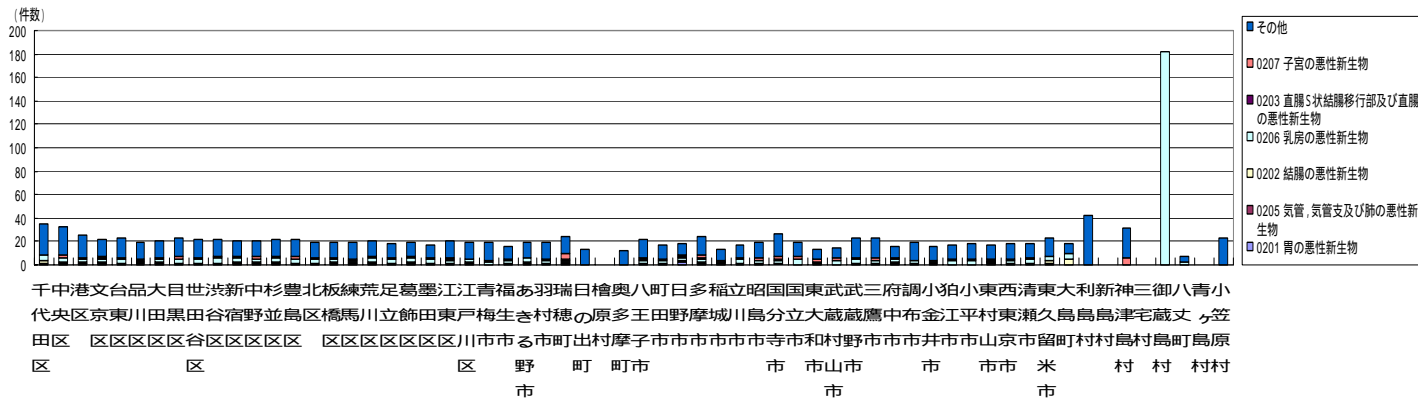


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「乳房の悪性新生物」の占める割合が最も高く、費用額が最も低い区東部で 126 円、費用額が最も高い区中央部で 275 円となっている。
- ついで、「子宮の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額は区南部の 110 円が高くなっている。
- 「胃の悪性新生物」は、西多摩の 134 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-56 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費（40歳～49歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

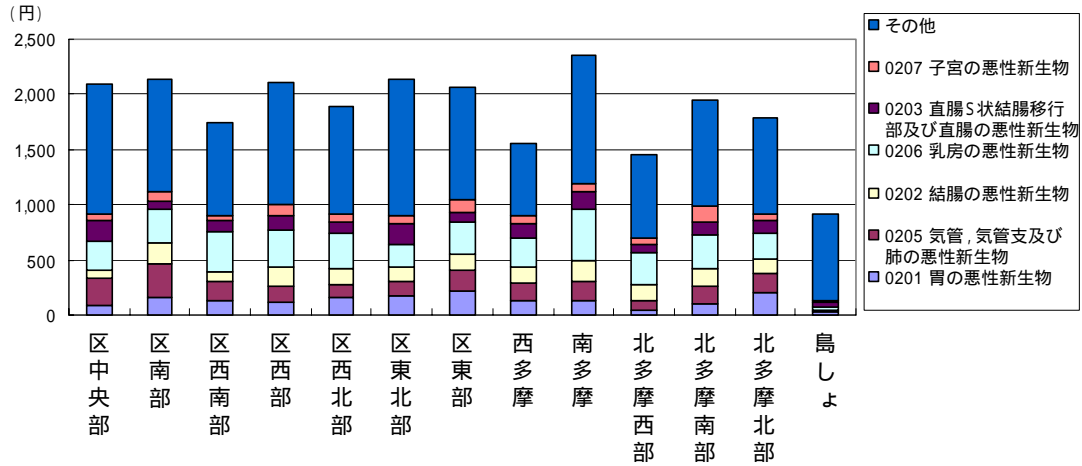


図表 4-4-57 区市町村別 新生物 中分類別受診率（40歳～49歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

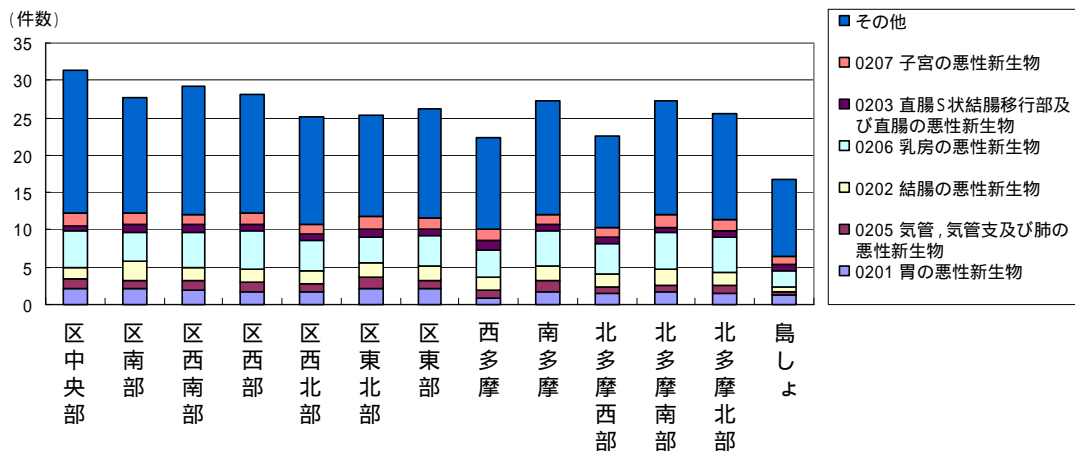


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「乳房の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額の最も高い立川市で560円となっている。
- 「子宮の悪性新生物」は、福生市の332円が最も高い費用額となっている。
- 「胃の悪性新生物」は、瑞穂町の574円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-58 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (50歳～59歳)
(平成18年11月診療分 医科計)



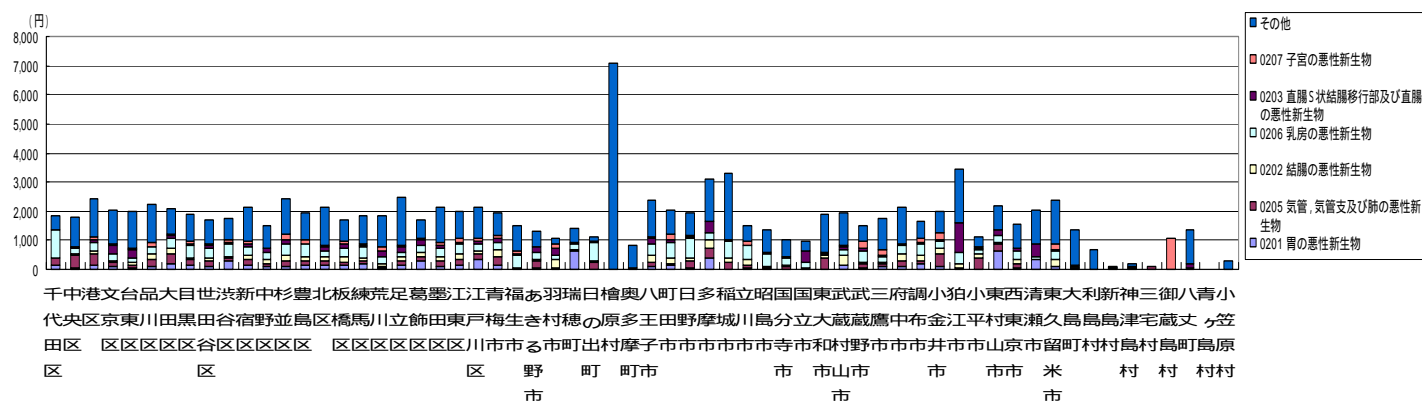
図表 4-4-59 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率 (50歳～59歳)
(平成18年11月診療分 医科計)



- 一人当たり医療費について中分類で見ると、どの二次保健医療圏においても「乳房の悪性新生物」の占める割合が最も高く、島しょを除くと、費用額が最も低い区東北部で194円、費用額が最も高い南多摩で463円となっている。
- ついで、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額は区南部の304円が高くなっている。
- 「胃の悪性新生物」は、区東部の222円が最も高い費用額となっている。

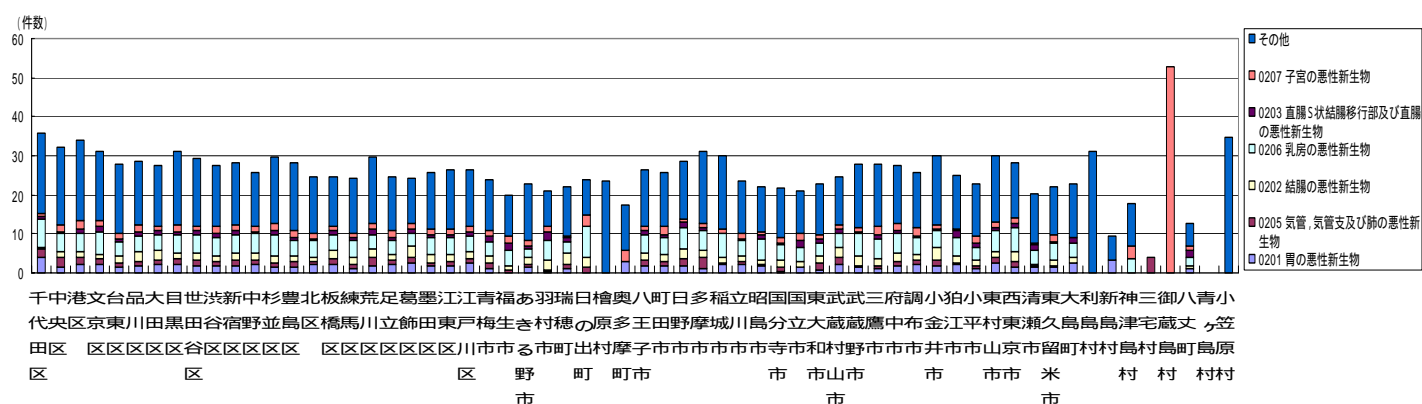
図表 4-4-60 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (50歳～59歳)

(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



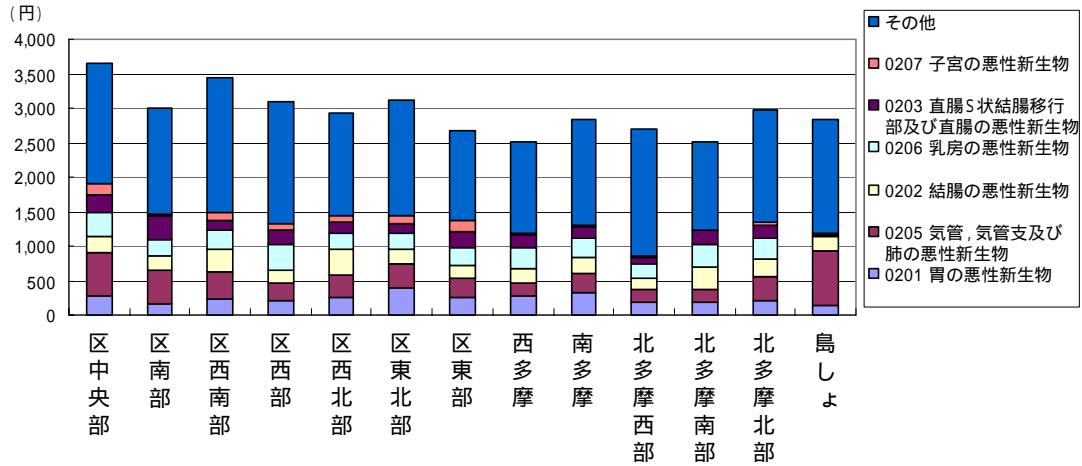
図表 4-4-61 区市町村別 新生物 中分類別受診率 (50歳～59歳)

(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

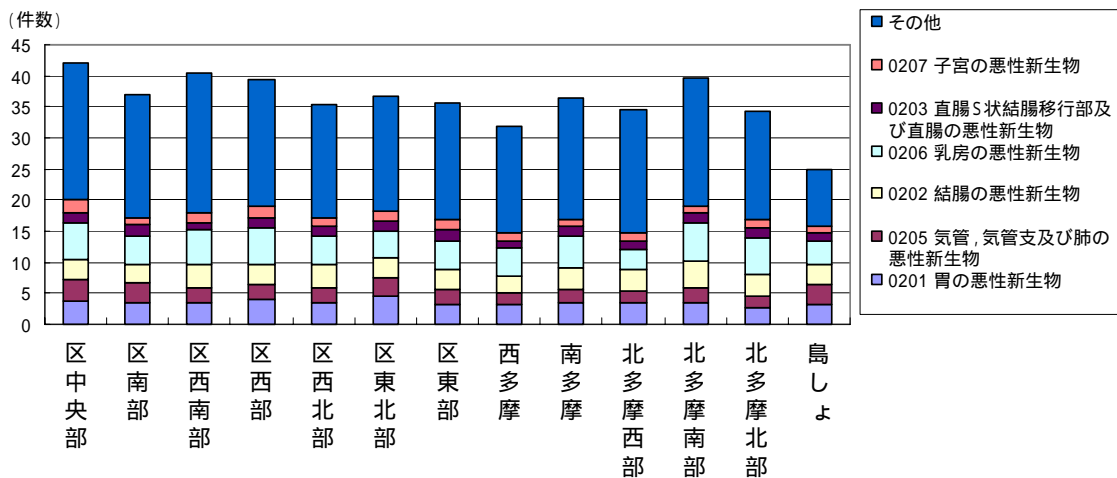


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「乳房の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額のもっと高い千代田区で 958 円となっている。
- 「気管、気管支及び肺の悪性新生物」は、中央区の 448 円が最も高い費用額となっている。
- 「胃の悪性新生物」は、瑞穂町の 633 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-62 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費（60歳～64歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

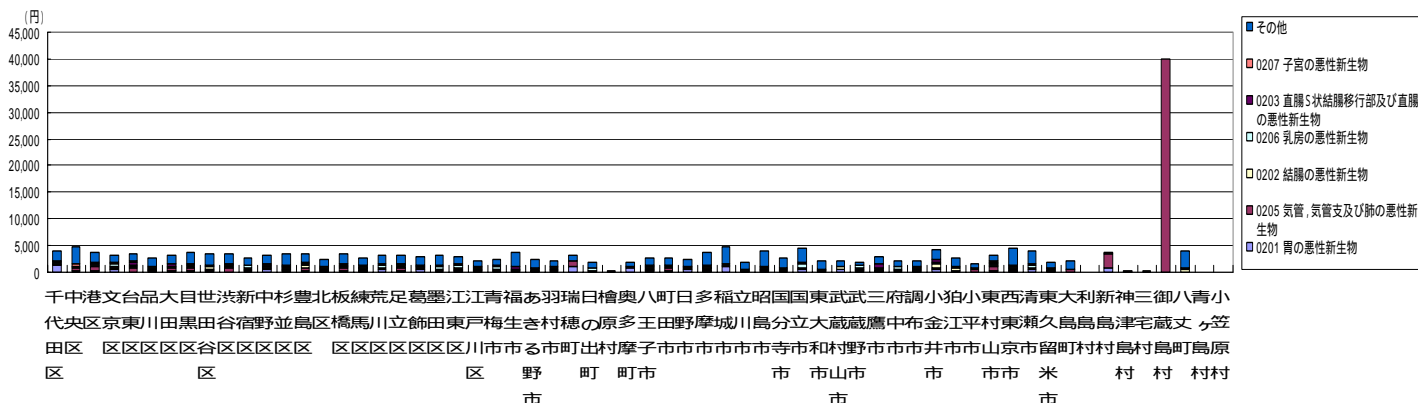


図表 4-4-63 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率（60歳～64歳）
（平成18年11月診療分 医科計）

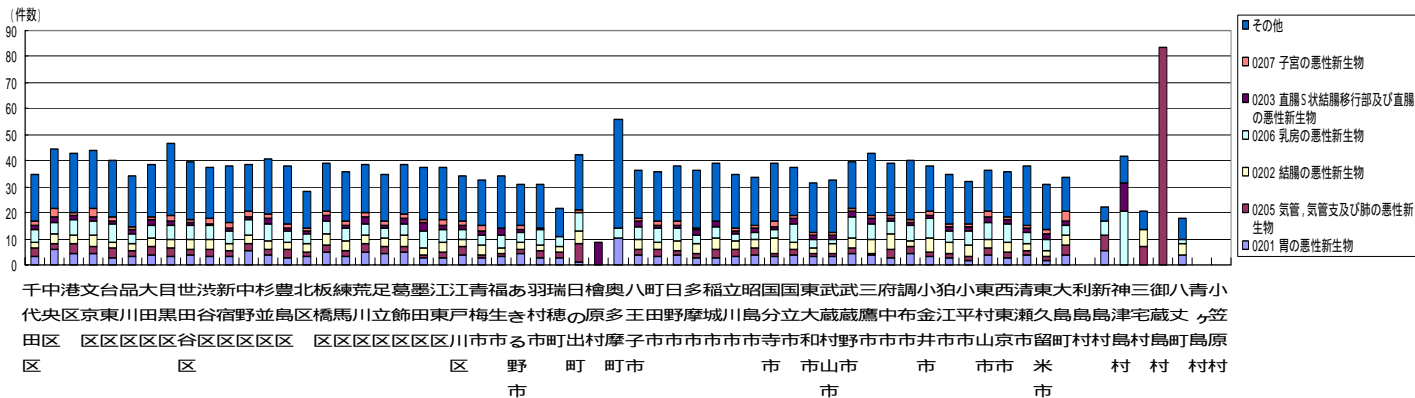


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で174円、費用額が最も高い区中央部で620円となっている。
- ついで、「乳房の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で204円、費用額が最も高い区西部で370円となっている。
- 「胃の悪性新生物」は、島しょを除くと、費用額が最も低い区南部で159円、費用額が最も高い区東北部で385円となっている。

図表 4-4-64 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (60歳～64歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

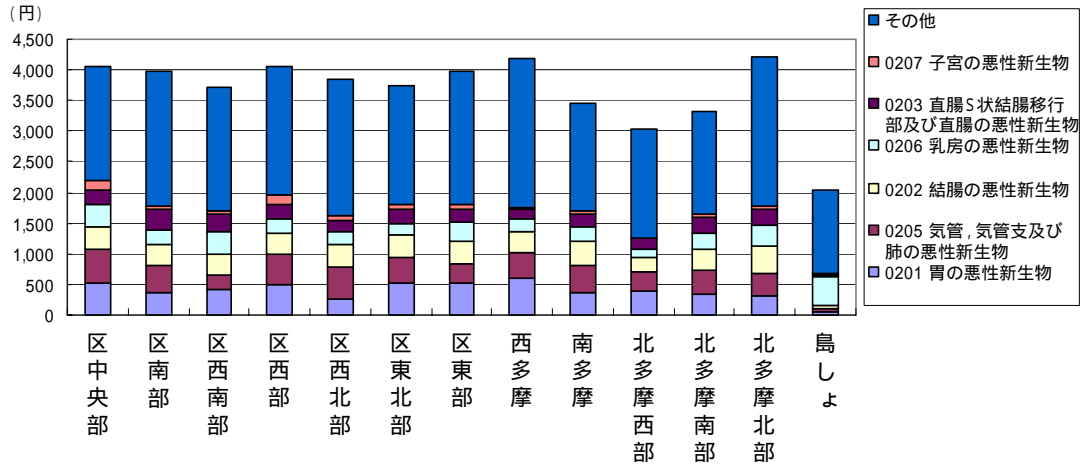


図表 4-4-65 区市町村別 新生物 中分類別受診率 (60歳～64歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

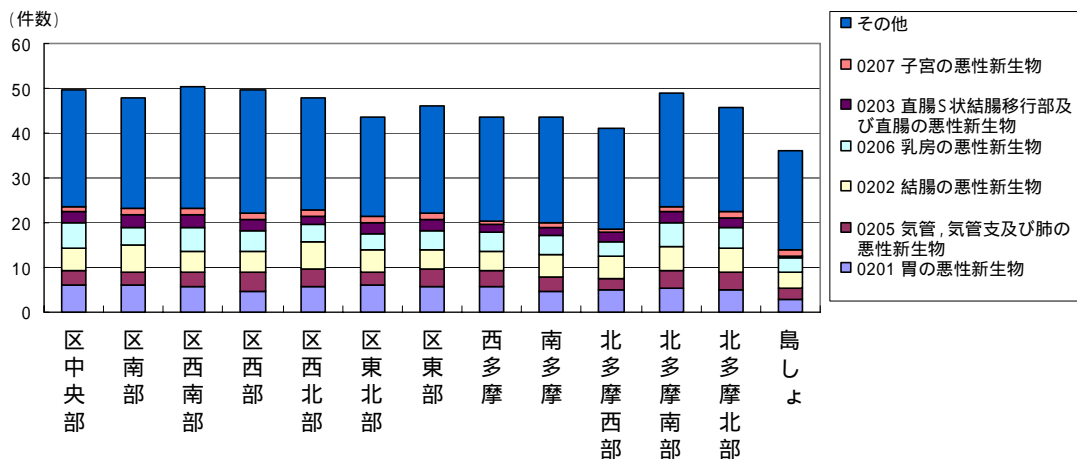


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額の最も高い瑞穂町で1,088円となっている。
- 「乳房の悪性新生物」は、国立市の844円が最も高い費用額となっている。
- 「胃の悪性新生物」は、千代田区の1,290円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-66 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (65 歳～69 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

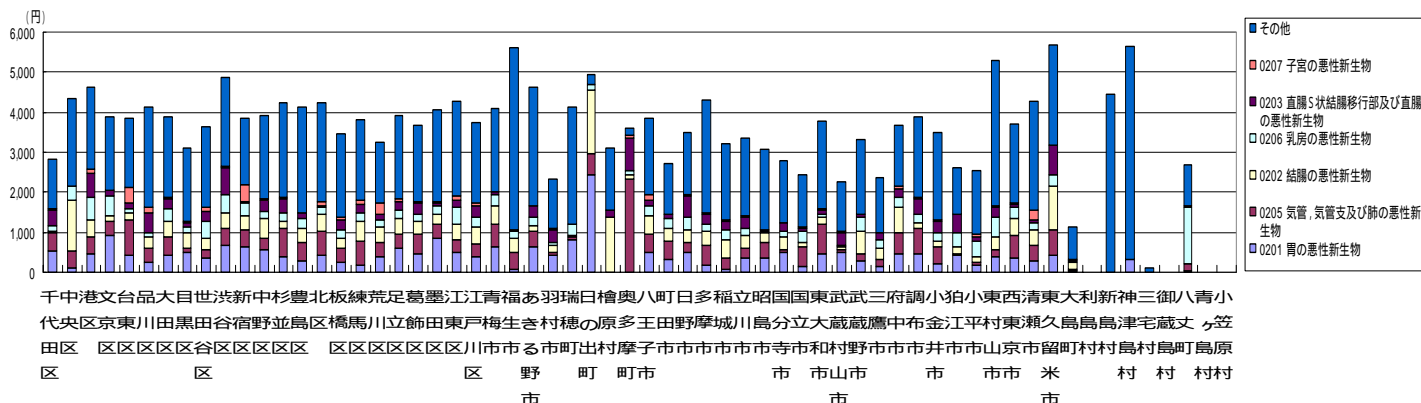


図表 4-4-67 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率 (65 歳～69 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

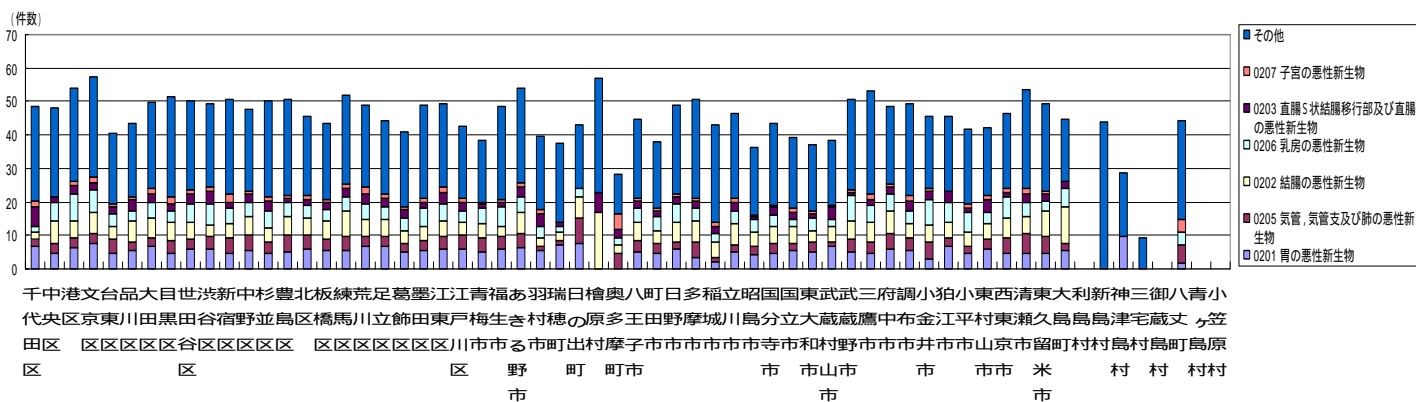


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「胃の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い区西北部で 272 円、費用額が最も高い西多摩で 604 円となっている。
- ついで、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い区西南部で 229 円、費用額が最も高い区中央部で 540 円となっている。
- 「結腸の悪性新生物」は、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩西部で 232 円、費用額が最も高い北多摩北部で 451 円となっている。

図表 4-4-68 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (65歳~69歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

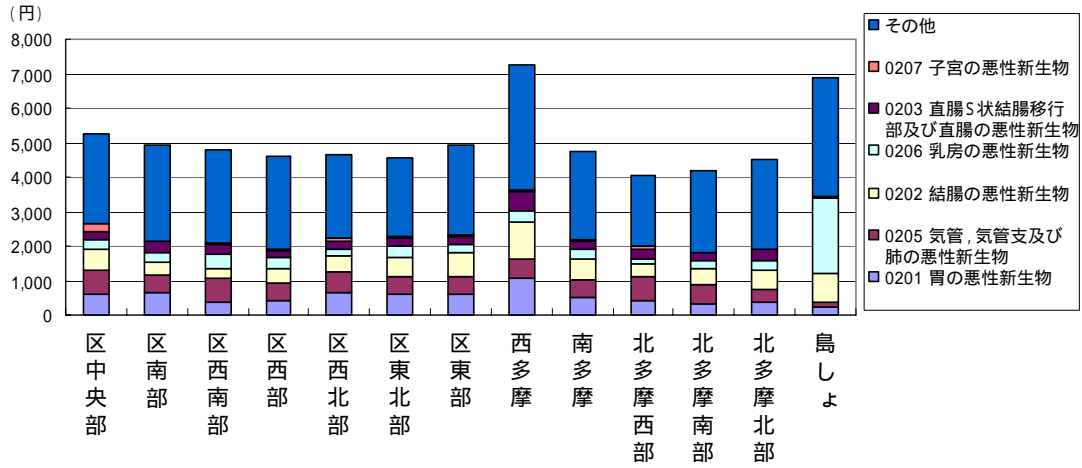


図表 4-4-69 区市町村別 新生物 中分類別受診率 (65歳~69歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

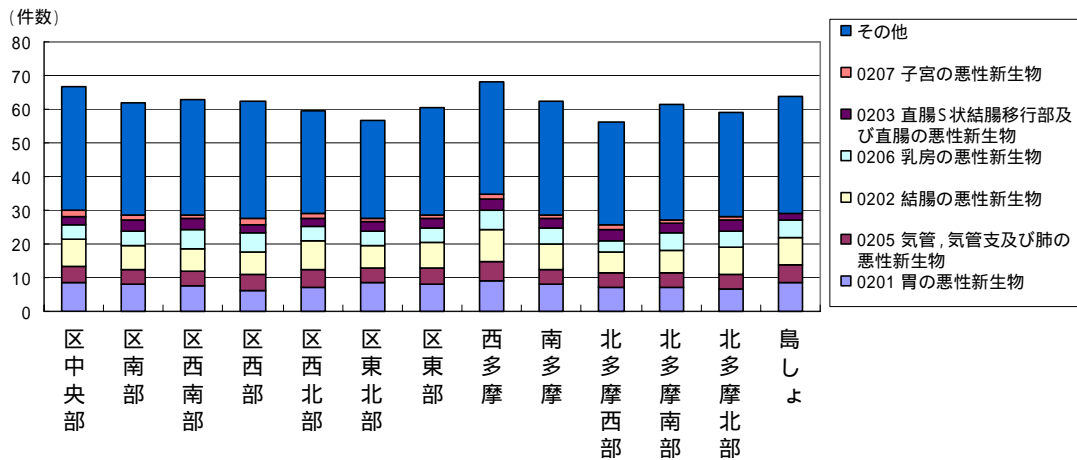


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「胃の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額の最も高い日の出町で2,421円、次いで文京区で913円となっている。
- 「気管、気管支及び肺の悪性新生物」は、最も高い費用額が奥多摩町の2,330円で、ついで台東区の863円となっている。
- 「結腸の悪性新生物」は、日の出町の1,602円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-70 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (70歳～74歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

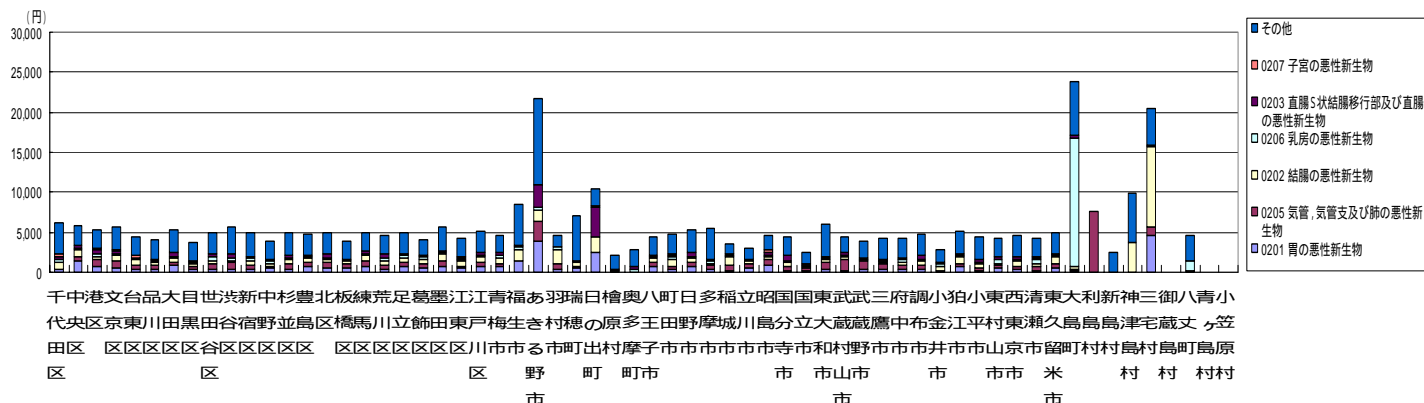


図表 4-4-71 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率 (70歳～74歳)
(平成18年11月診療分 医科計)

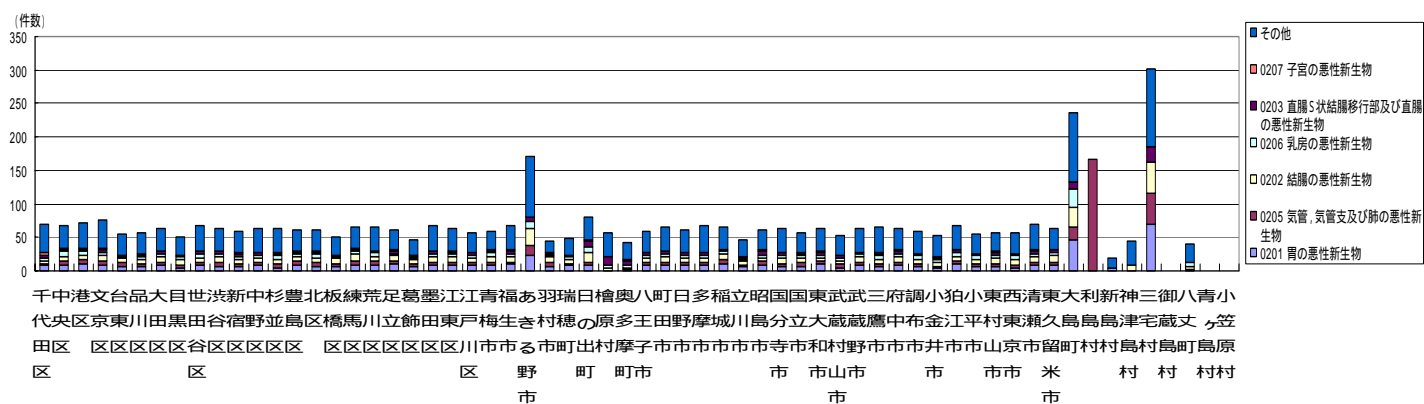


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩北部で 412 円、費用額が最も高い北多摩西部で 694 円となっている。
- ついで、「胃の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 340 円、費用額が最も高い西多摩で 1,081 円となっている。
- 「結腸の悪性新生物」は、費用額が最も低い区西南部で 310 円、費用額が最も高い西多摩で 1,062 円となっている。

図表 4-4-72 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (70 歳 ~ 74 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

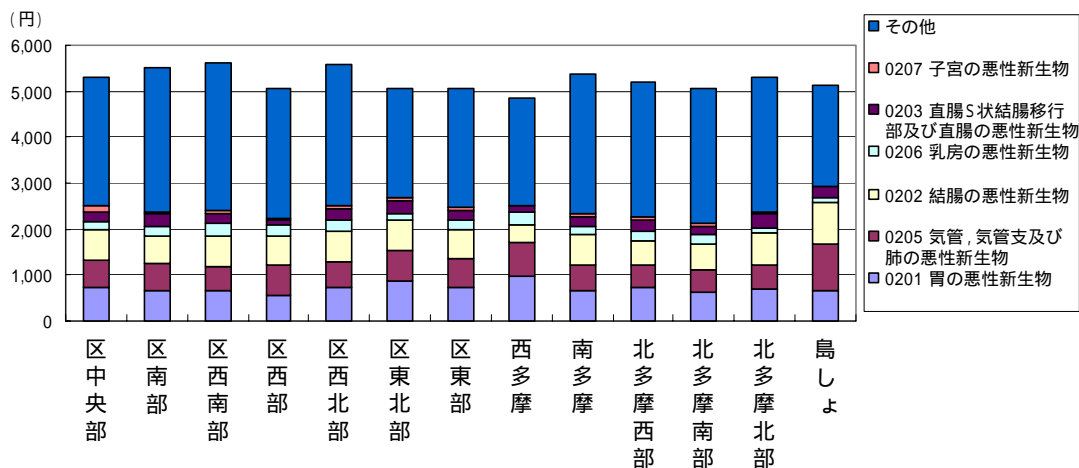


図表 4-4-73 区市町村別 新生物 中分類別受診率 (70 歳 ~ 74 歳)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

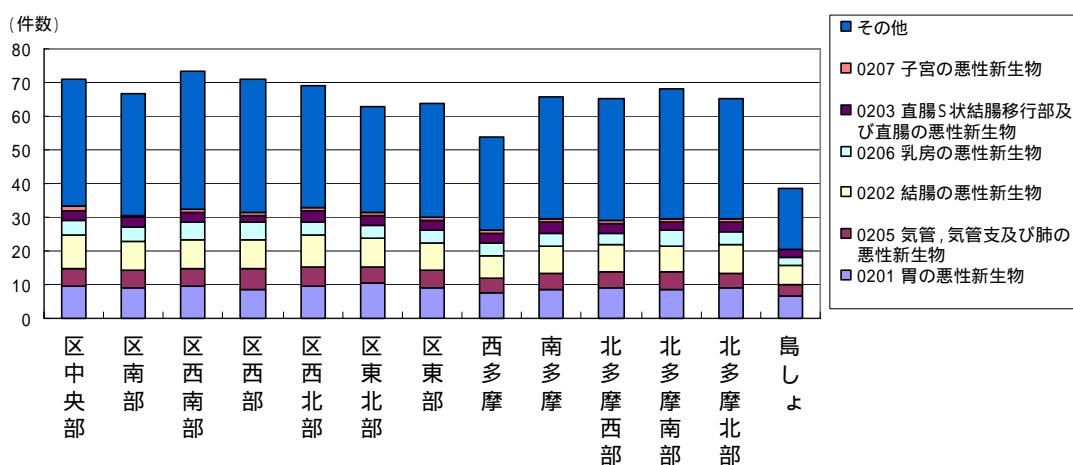


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「気管、気管支及び肺の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額の最も高いあきる野市で 2,503 円となっている。
- 「胃の悪性新生物」は、島しょを除くと、あきる野市の 3,801 円が最も高い費用額となっている。
- 「結腸の悪性新生物」は、島しょを除くと、日の出町の 1,800 円が最も高い費用額となっている。

図表 4-4-74 二次保健医療圏別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (75 歳以上)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

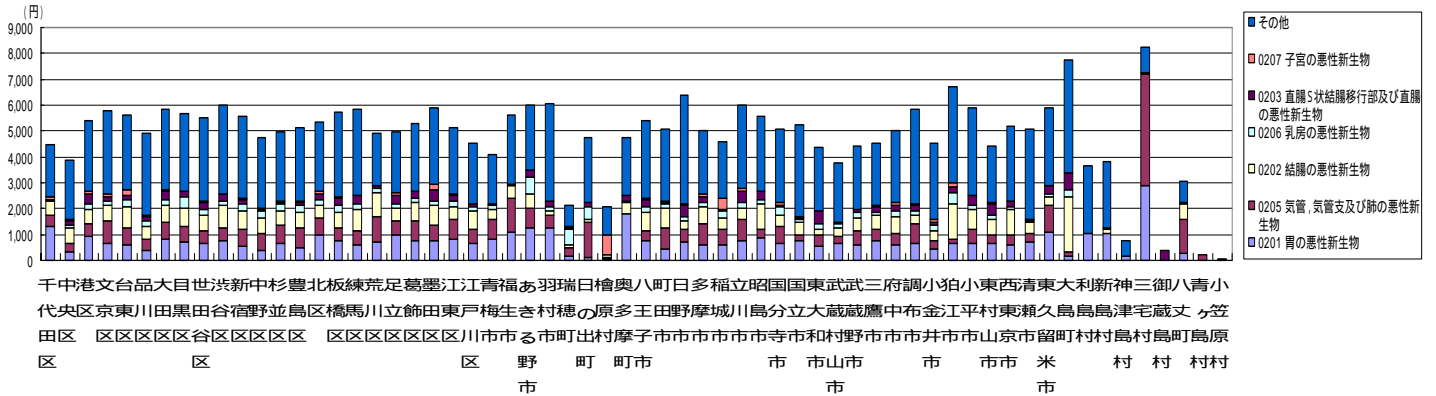


図表 4-4-75 二次保健医療圏別 新生物 中分類別受診率 (75 歳以上)
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)

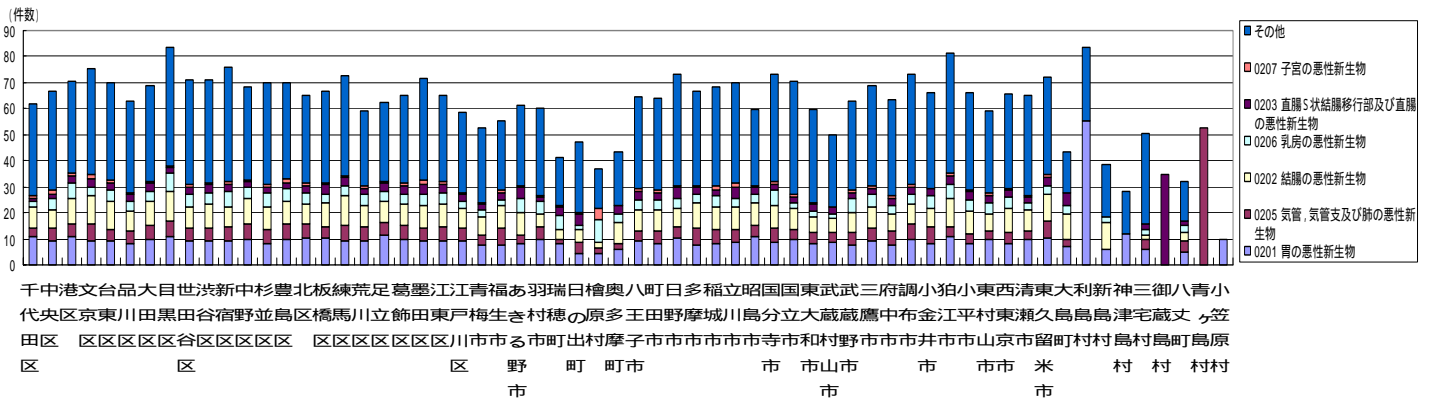


- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「胃の悪性新生物」の占める割合が高く、費用額が最も低い区西部で 546 円、費用額が最も高い西多摩で 965 円となっている。
- ついで、「結腸の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額が最も低い西多摩で 388 円、費用額が最も高い北多摩北部で 674 円となっている。
- 「気管、気管支及び肺の悪性新生物」は、島しょを除くと、費用額が最も低い北多摩南部で 489 円、費用額が最も高い西多摩で 742 円となっている。

図表 4-4-76 区市町村別 新生物 中分類別一人当たり医療費 (75 歳以上)
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



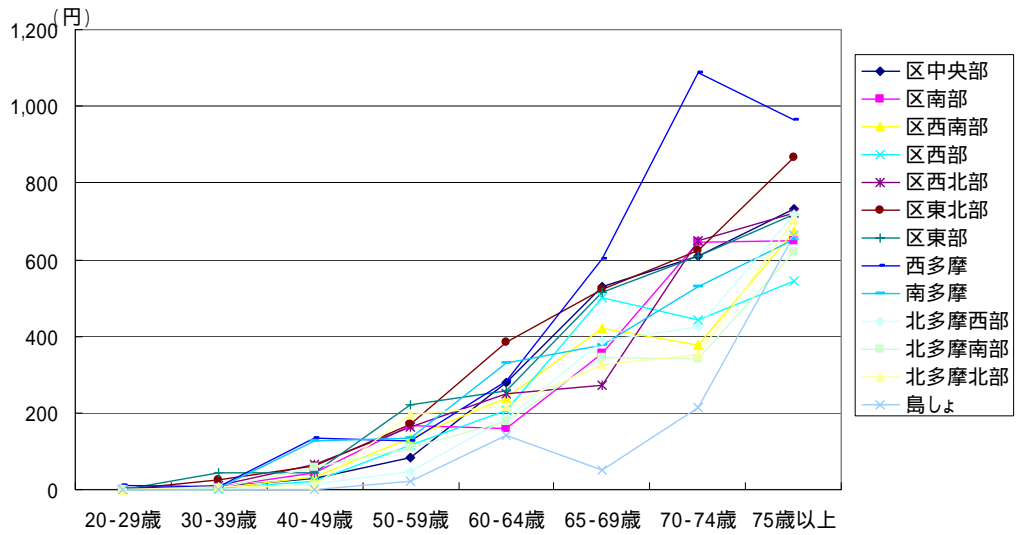
図表 4-4-77 区市町村別 新生物 中分類別受診率 (75 歳以上)
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



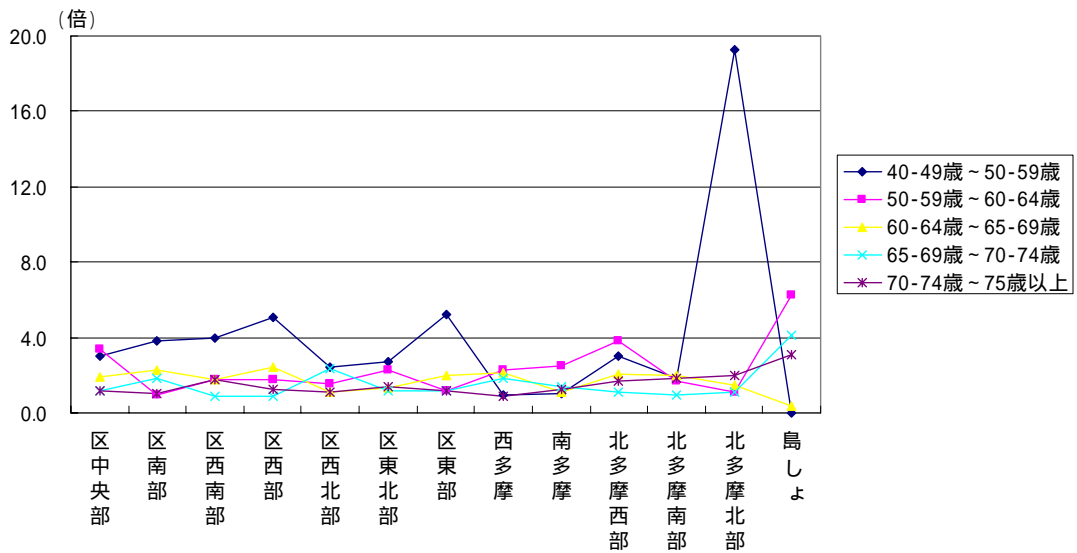
- 一人当たり医療費について中分類で見ると、比較的「胃の悪性新生物」の占める割合が高く、島しょを除くと、費用額の最も高い奥多摩町で 1,786 円となっている。
- 「結腸の悪性新生物」は、島しょを除くと、狛江市の 1,405 円が最も高い費用額となっている。
- 「気管、気管支及び肺の悪性新生物」は、島しょを除くと、日の出町の 1,342 円が最も高い費用額となっている。

(参考)

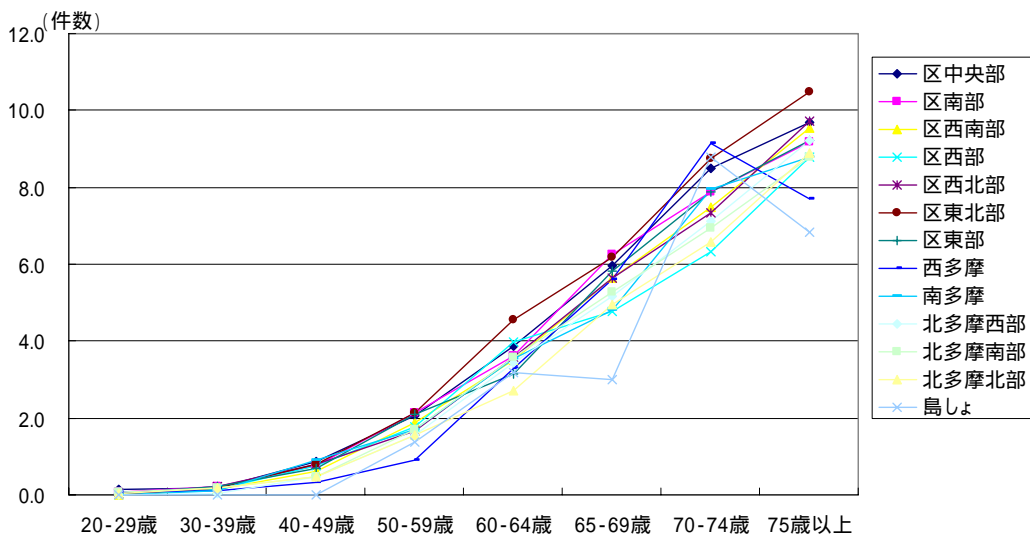
図表 4-4-78 胃の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



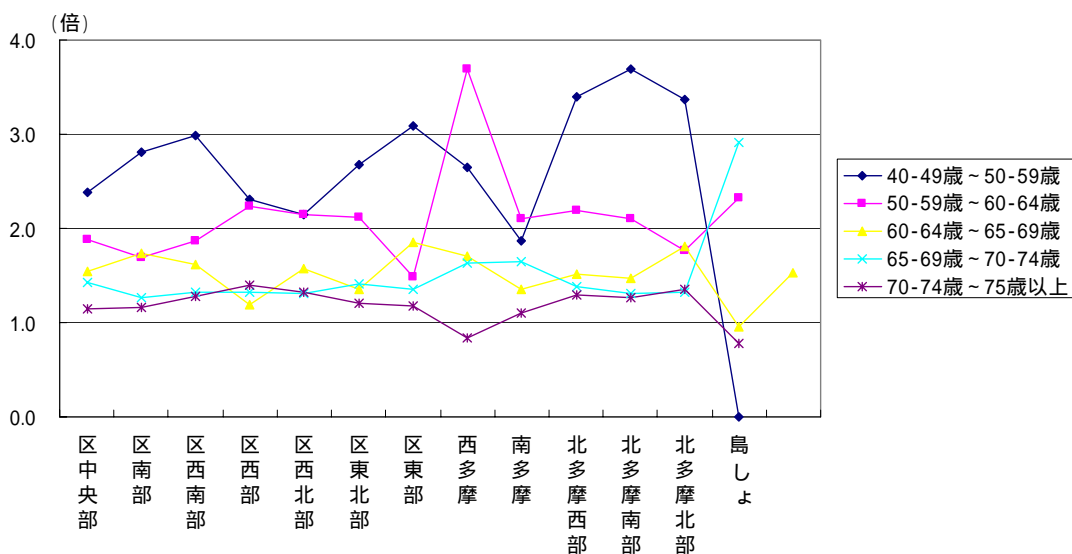
図表 4-4-79 胃の悪性新生物 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



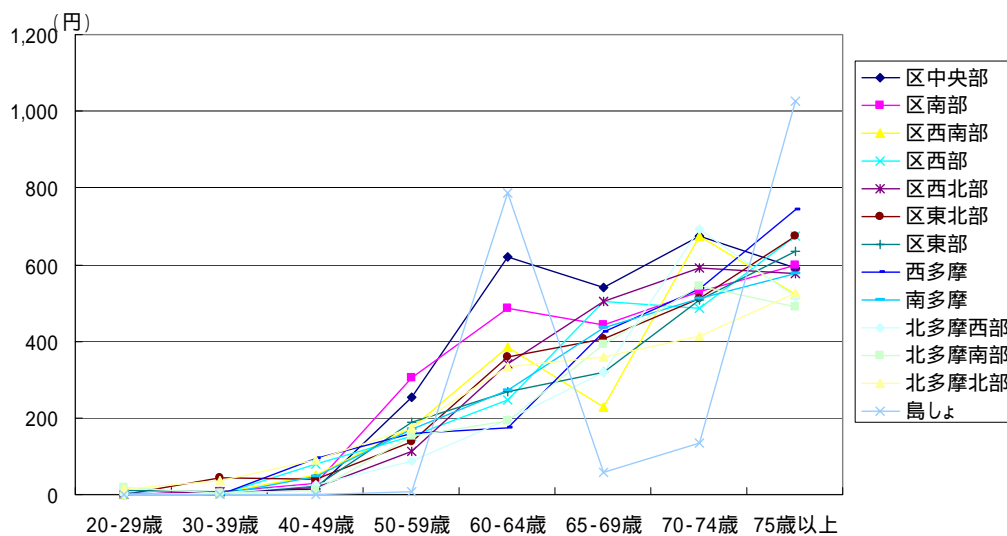
図表 4-4-80 胃の悪性新生物 年齢階級別 受診率（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



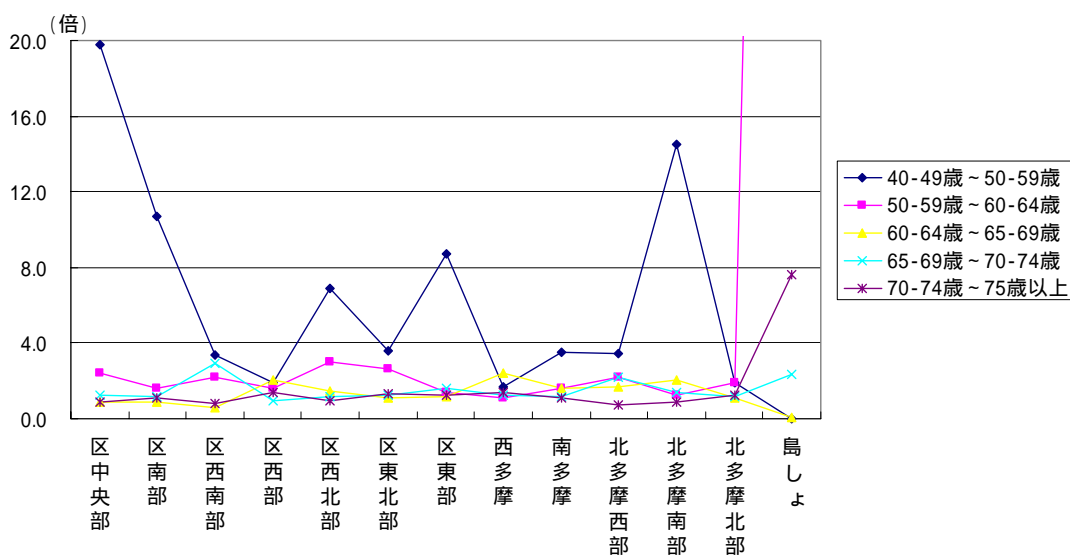
図表 4-4-81 胃の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
（平成 18 年 11 月診療分 医科計）



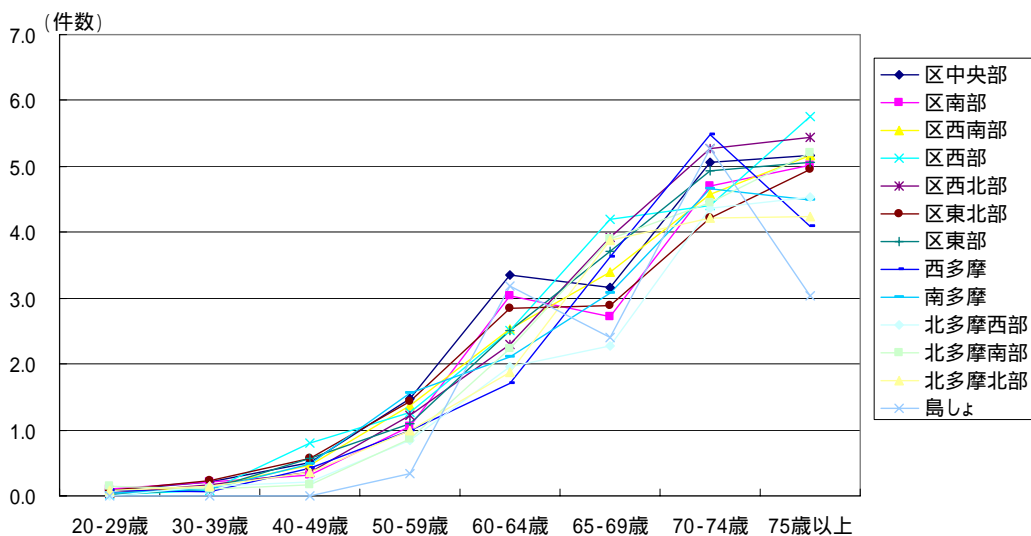
図表 4-4-82 気管、気管支及び肺の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



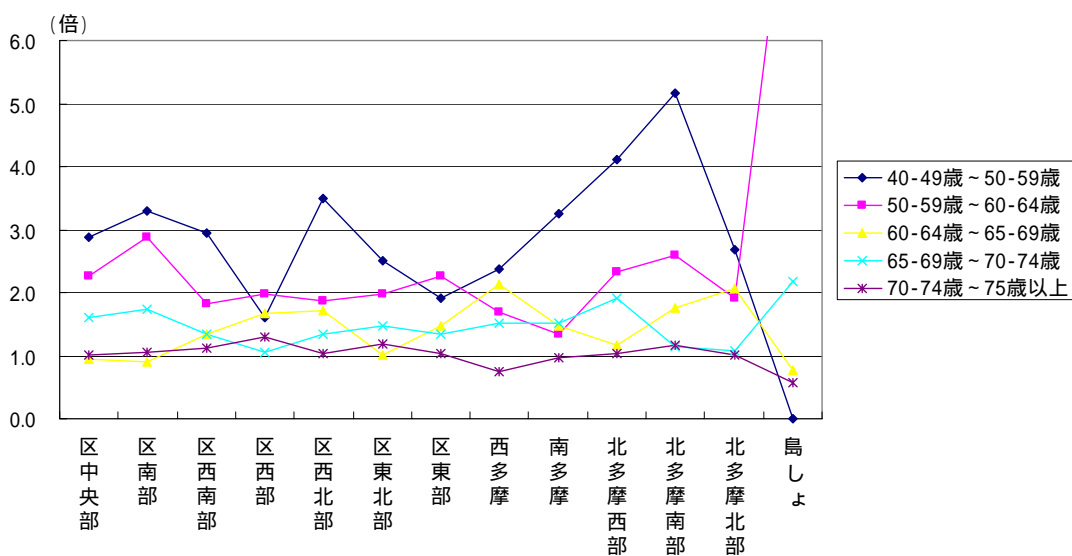
図表 4-4-83 気管、気管支及び肺の悪性新生物 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



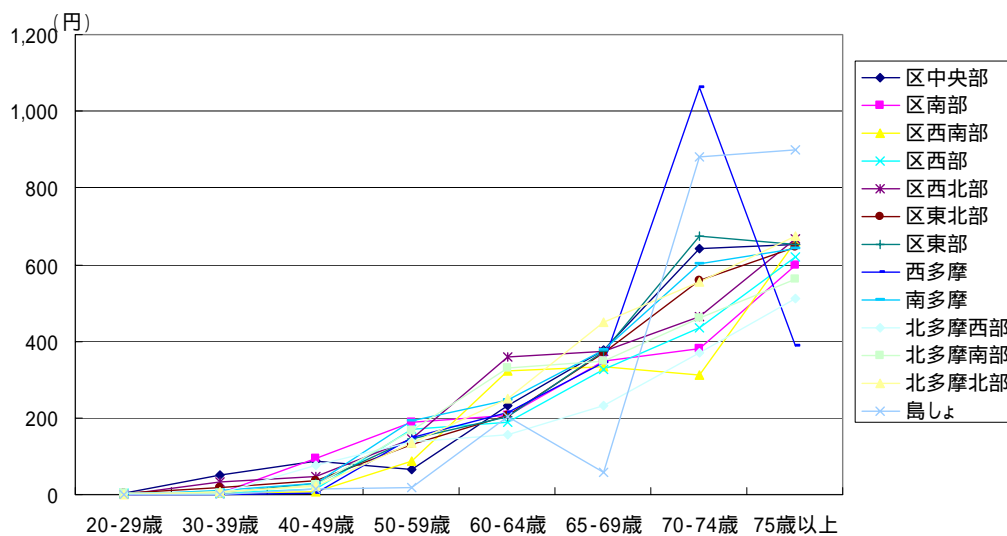
図表 4-4-84 気管、気管支及び肺の悪性新生物 年齢階級別 受診率
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



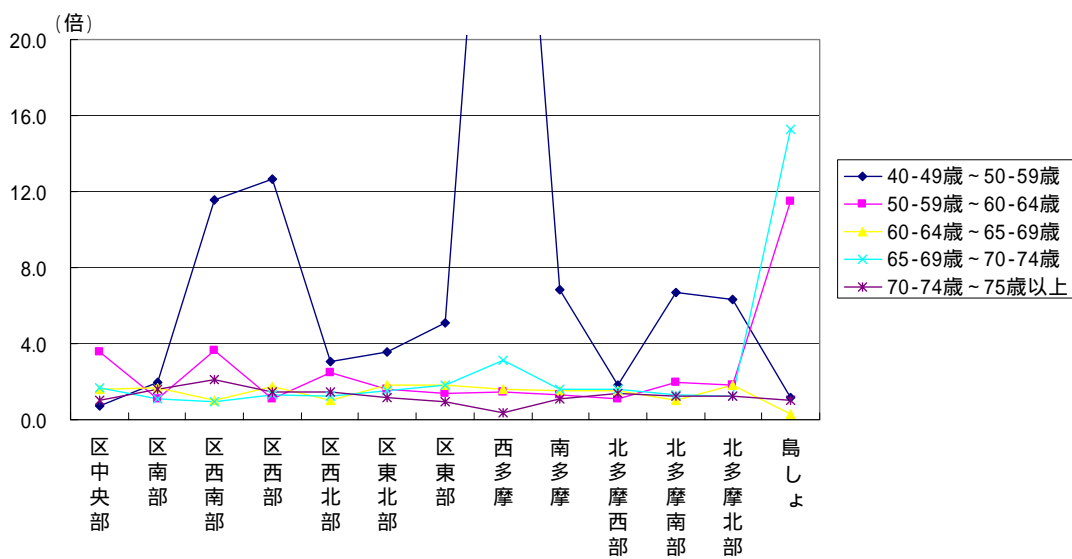
図表 4-4-85 気管、気管支及び肺の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



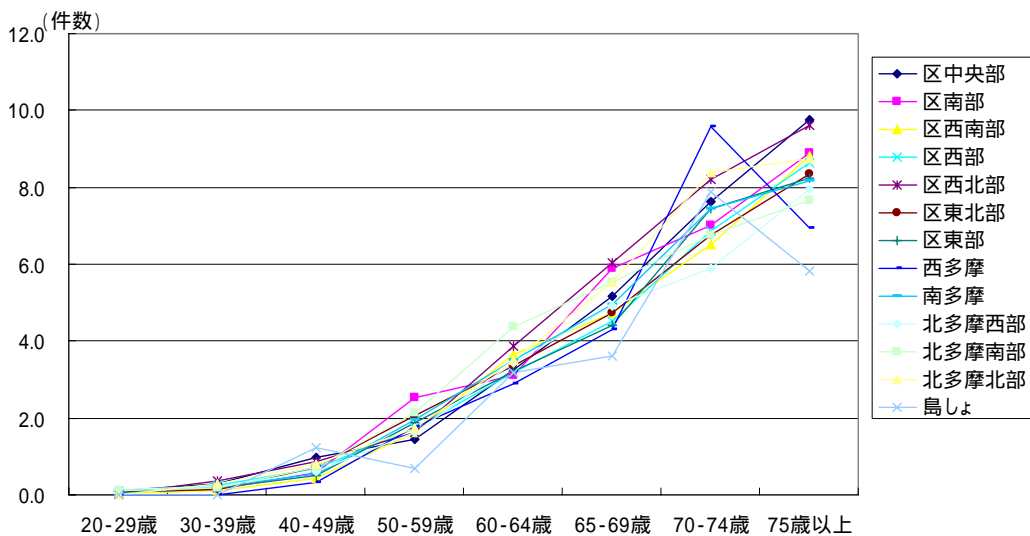
図表 4-4-86 結腸の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



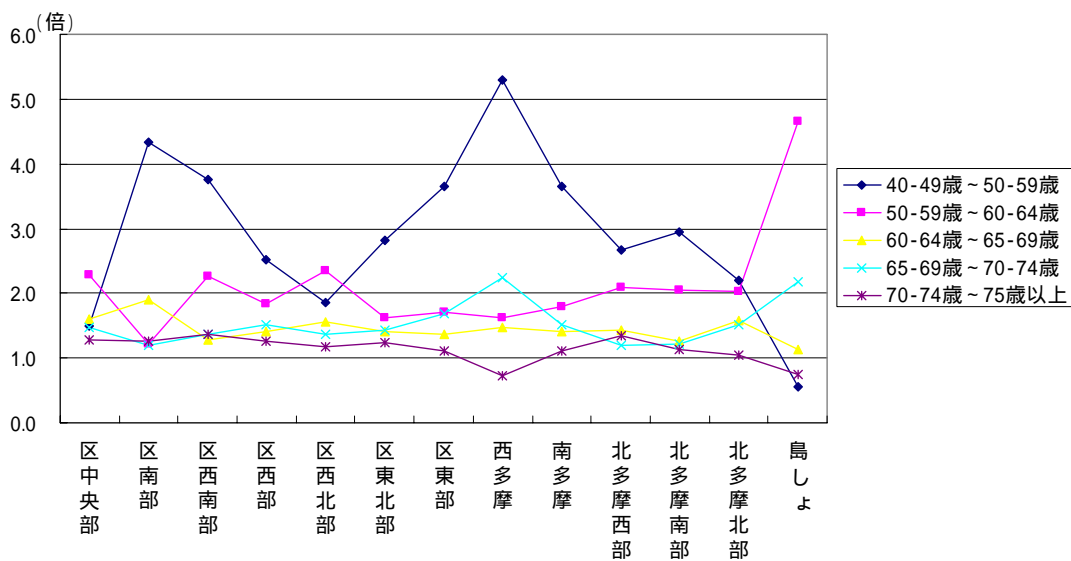
図表 4-4-87 結腸の悪性新生物 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



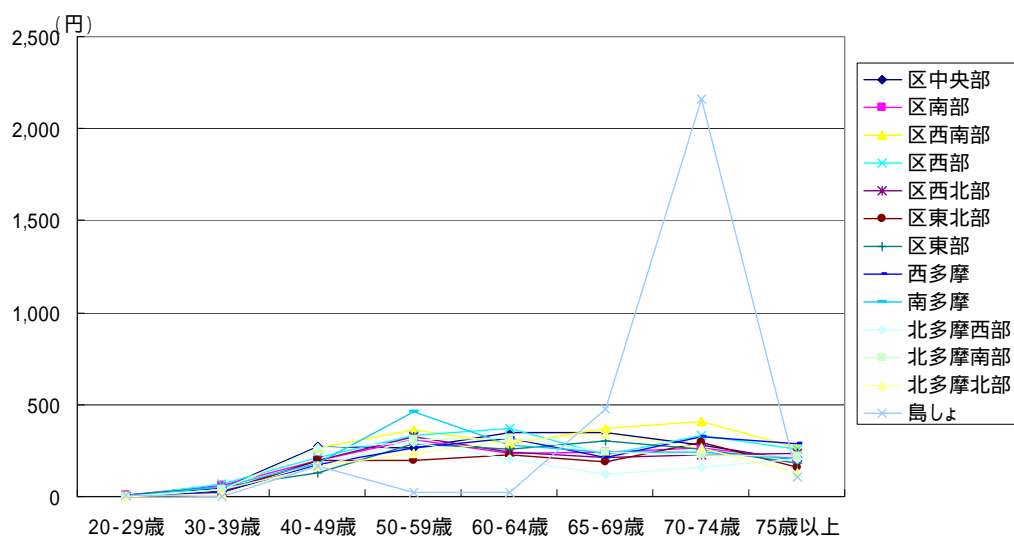
図表 4-4-88 結腸の悪性新生物 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



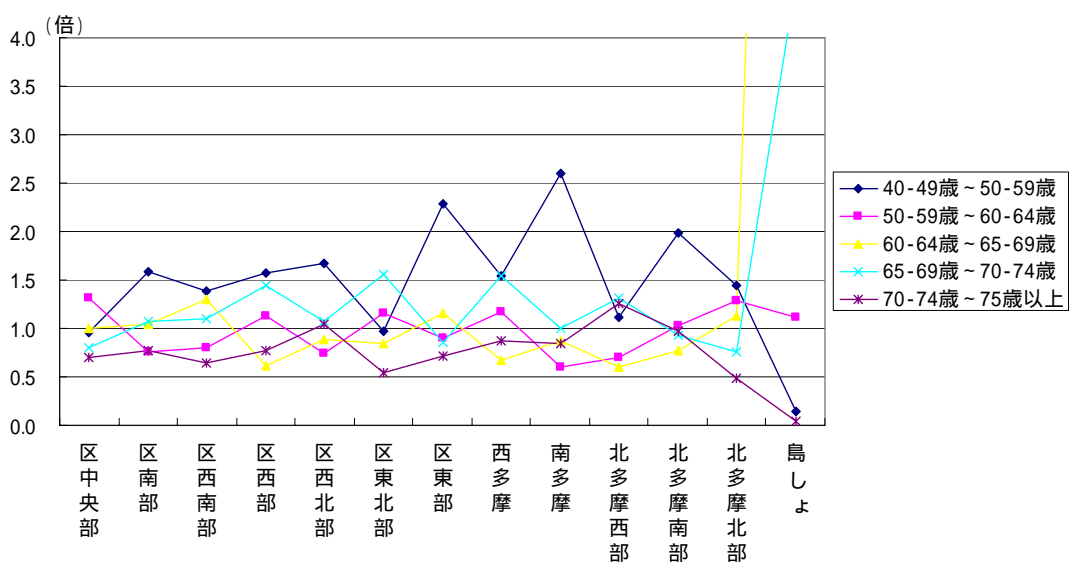
図表 4-4-89 結腸の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



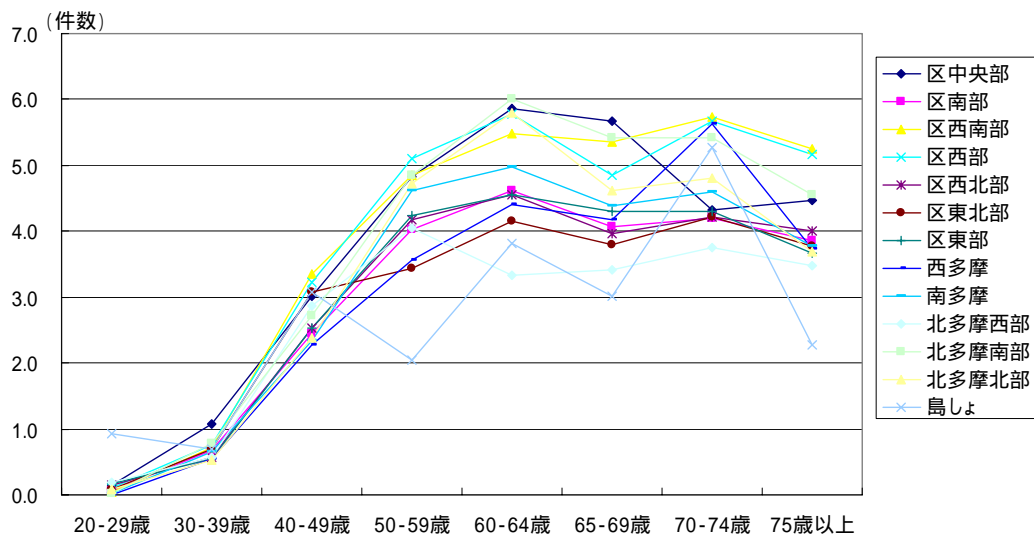
図表 4-4-90 乳房の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



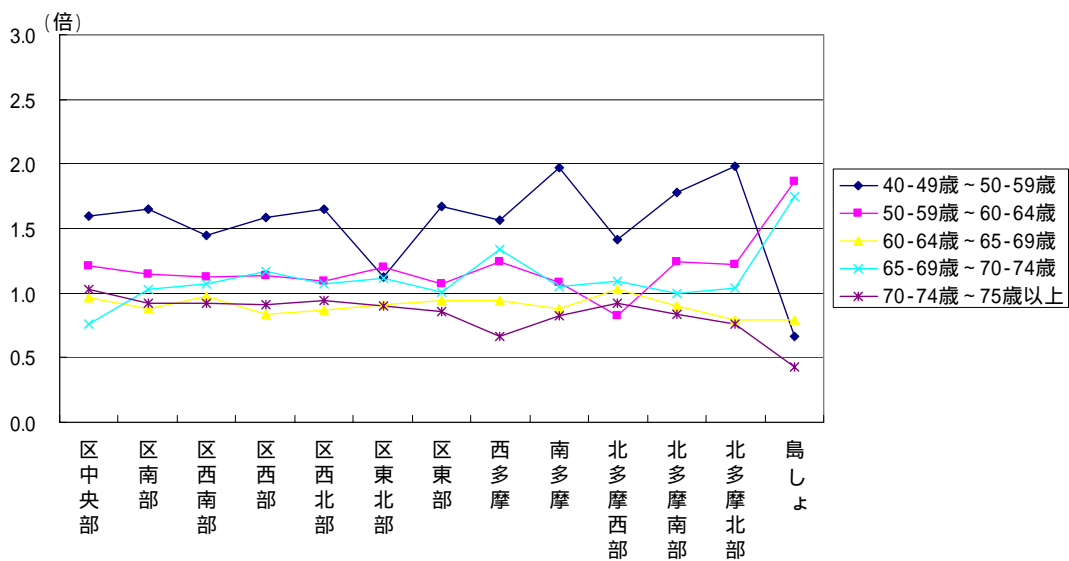
図表 4-4-91 乳房の悪性新生物 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



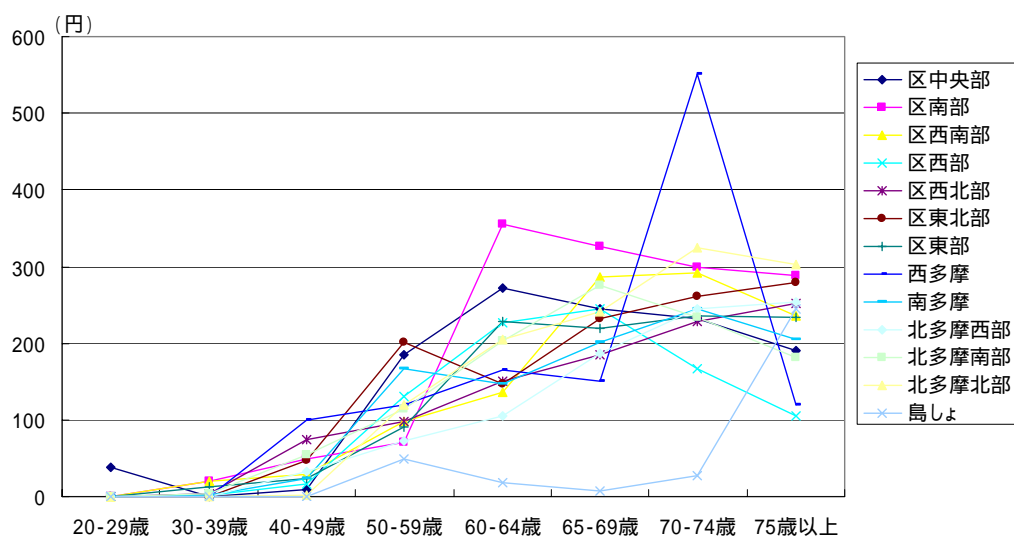
図表 4-4-92 乳房の悪性新生物 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



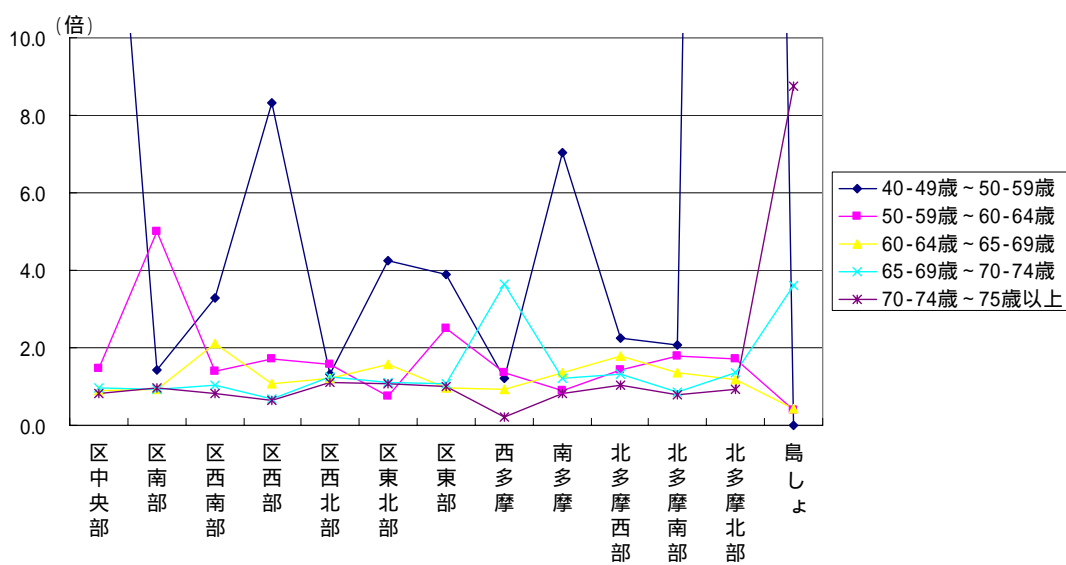
図表 4-4-93 乳房の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



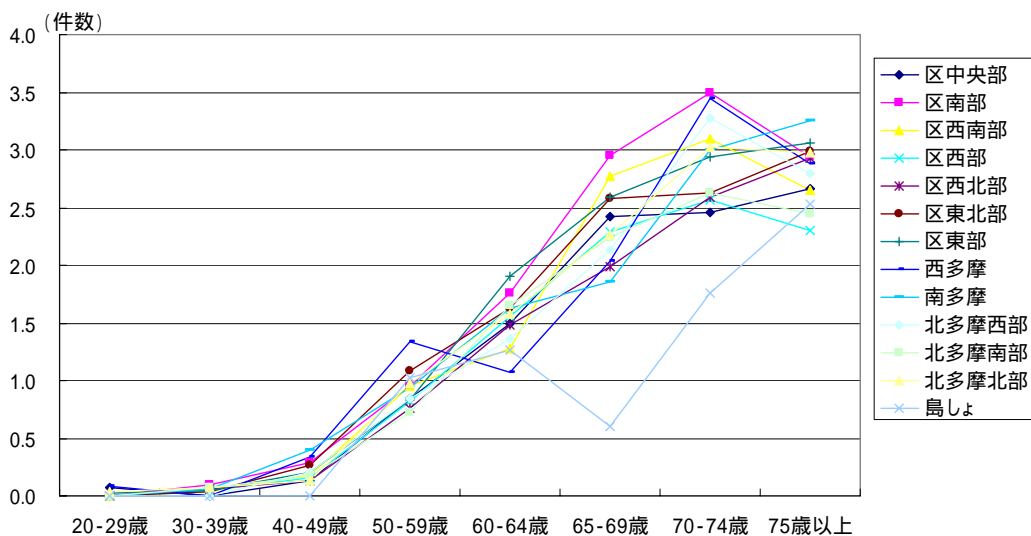
図表 4-4-94 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



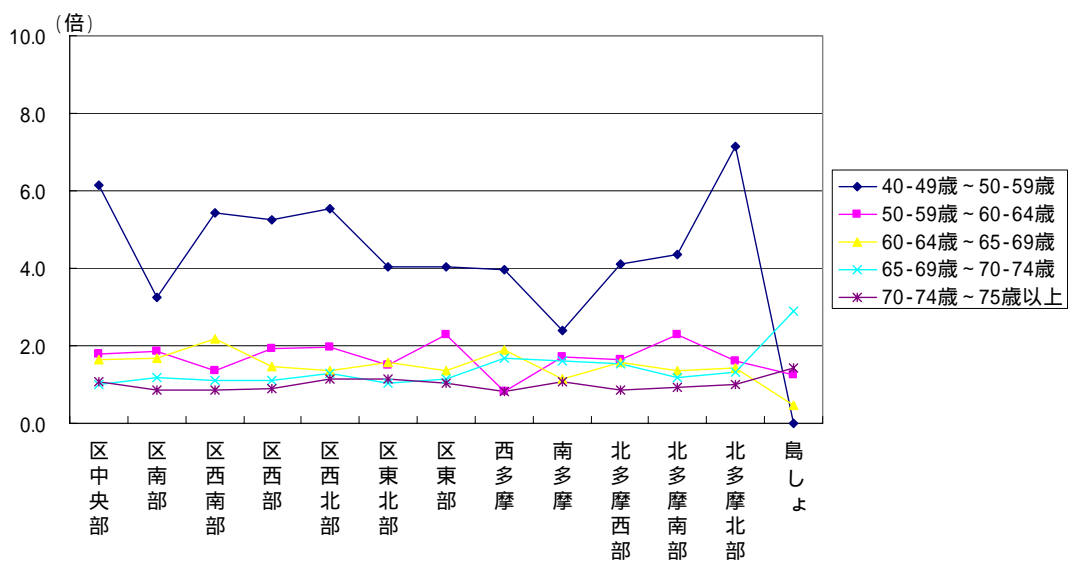
図表 4-4-95 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 一人当たり医療費の
年齢階級別の伸び (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



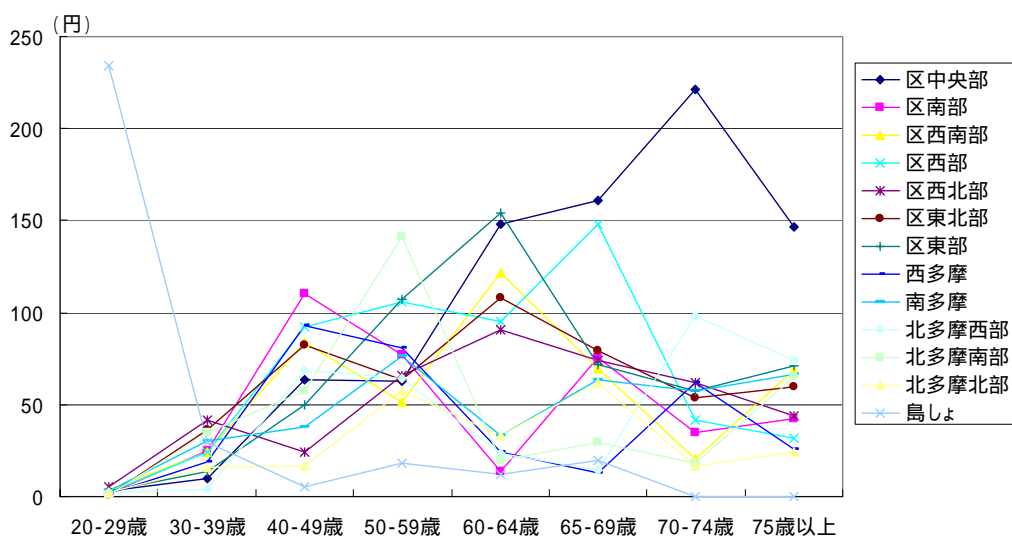
図表 4-4-96 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 年齢階級別 受診率
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



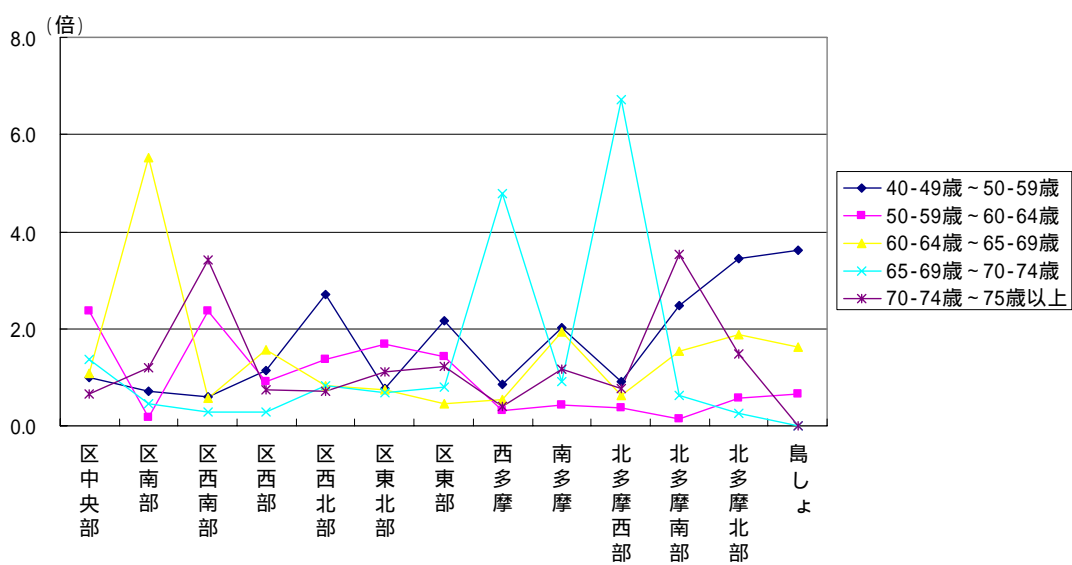
図表 4-4-97 直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



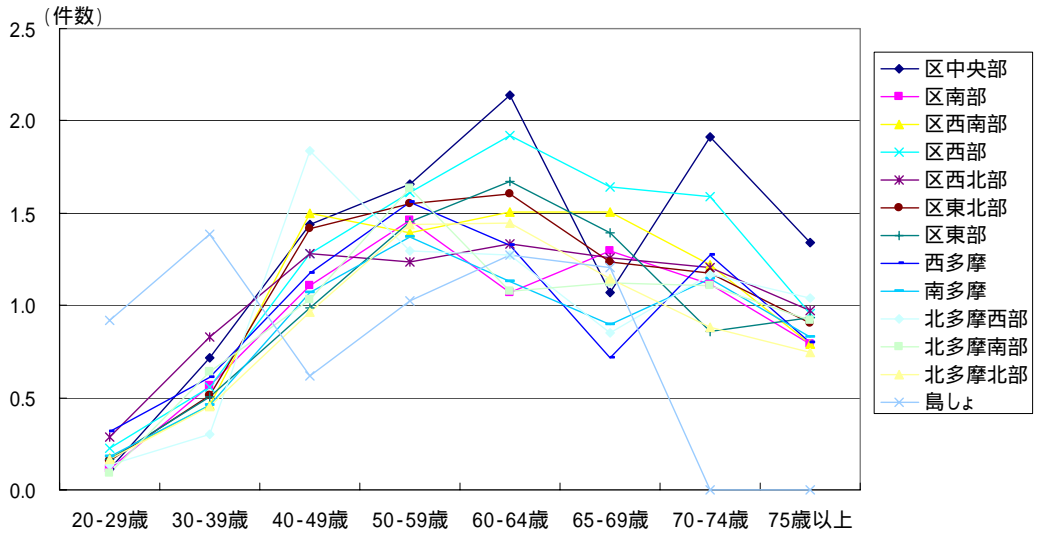
図表 4-4-98 子宮の悪性新生物 年齢階級別 一人当たり医療費
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



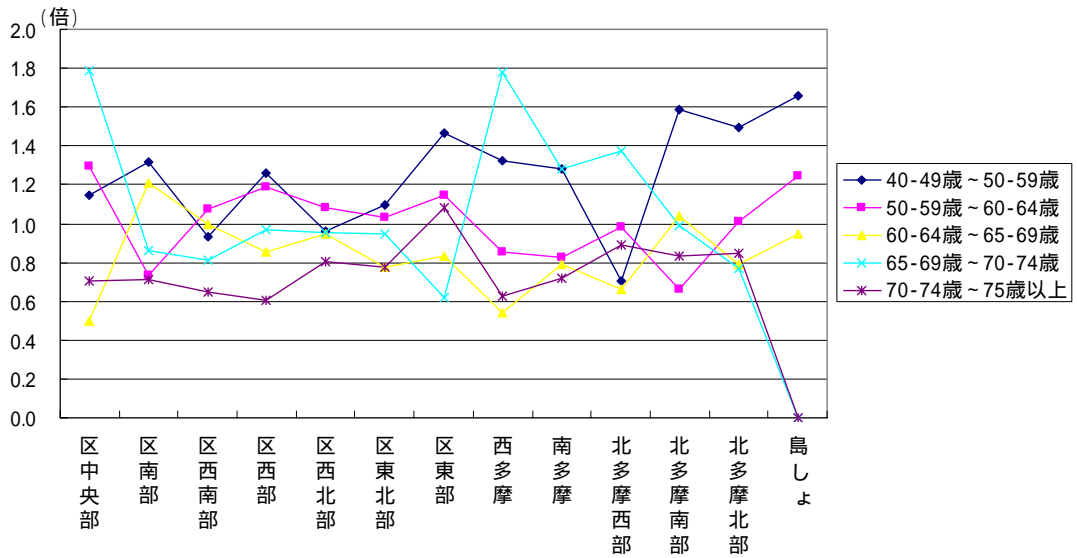
図表 4-4-99 子宮の悪性新生物 一人当たり医療費の年齢階級別の伸び
 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-100 子宮の悪性新生物 年齢階級別 受診率 (平成 18 年 11 月診療分 医科計)



図表 4-4-101 子宮の悪性新生物 受診率の年齢階級別の伸び
(平成 18 年 11 月診療分 医科計)



以上のように、新生物の疾病構造を年齢階層別、及び二次保健医療圏・区市町村別に比較したが、次のようなことがいえるものと考えられる。

「新生物の疾病構造の年齢階層別及び二次保健医療圏・区市町村別の比較」

【疾病中分類別に見た特徴】

- ・ 新生物を疾病中分類で見ると、特に「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「乳房の悪性新生物」「結腸の悪性新生物」の医療費占有率が高く、これらの疾病における医療費の推移が東京都の医療費に大きな影響を与えられとされる。
- ・ 新生物の医療費について、療養区分別の割合をみると、入院医療費の占める割合が大きい。
- ・ 二次保健医療圏、区市町村別にみると、「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「乳房の悪性新生物」「結腸の悪性新生物」の一人当たり医療費について、全ての年齢階層において一定の地域が高いといった傾向は見られなかった。
- ・ 年齢階層別に見ると、「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「結腸の悪性新生物」の一人当たり医療費の伸びは、40歳代から50歳代にかけての伸びが他の年齢階層と比較して大きく、受診率についても同様の傾向が見られる。
- ・ 二次保健医療圏、区市町村別にみると、「胃の悪性新生物」「気管、気管支及び肺の悪性新生物」「乳房の悪性新生物」「結腸の悪性新生物」の受診率は、加齢に伴って地域間の差が大きくなっていく傾向が見られる。

